

The Basis

富山大学理学部同窓会報 2021 vol. 40



2016. 2. 18 富山市呉羽山展望台から撮影した北アルプス劔岳と神通川鉄橋を走りぬける北陸新幹線かがやき号

目 次

Topics&Topics : 写真で振り返る 2020~2021	2
2021 (令和3) 年度総会案内、理学部同窓会年会費について、他	3
巻頭言 : 同窓会名誉会長・理学部長 : 若杉達也、同窓会長 : 高井正三	5
特集Ⅰ : 岡部俊夫先生瑞宝中綬章受章を祝って … 池本弘之、高井正三、藤森洋行	6
特集Ⅱ : 第13回サイエンス・フェスティバル2020 … 実行委員長 : 長瀬茉莉、副実行委員長 : 荻原明日香、 各学科代表 : 瀬野汐恩、前田佳凜、田中慶人、川崎 光、人見颯馬、碓井大成	10
特集Ⅲ : キャンパスを振り返って … 末岡 透、松井一樹、齋藤祐助、佐々木照太、 佐藤佳輔、尾崎 仁	15
特集Ⅳ : 懸賞付き「科学用語を含むクロスワード・パズル」	23
事務局通信 : 会員情報、物故者、教職員の異動、活動報告、他	24
編集後記、癒し写真、2021 (令和3) 年度行事案内	31

Topics & Topics 写真で振り返る 2020~2021

学科単位で実施された学位記授与式 2021.03.23 (火)

数学科



物理学科



生物圏環境科学科



地球科学科



富山大学入学式 2021.04.08 (木)



2021年（令和3年）度富山大学理学部同窓会総会実施要領

富山大学理学部同窓会総会について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、集会形式による総会の開催を中止し、オンラインにて書面審議を行うことにいたしました。ホームページに掲載の総会議案書（PDF）を参照の上、表決のご協力をお願い申し上げます。（議案書の閲覧、回答にはパスワードが必要です。）

総会議案書・書面表決書用パスワード *****

回答フォーム用パスワード *****

表決締切日 令和4年2月8日（火）午前10時

理学部同窓会年会費について（再掲）

年会費の創設のご理解と納入について再度のお願い

今まで理学部同窓会員からは入会金2万円の会費と、10年を節目とした10年会費（5千円）を納めてもらうことをお願いしていました。入会金の納入率は81.3%（同窓会誌38号、p5参照）で、10年会費の集金は平成28年から開始されましたが、納入者数は、平成28年度48名、平成29年度33名、平成30年14名と減少の一途を辿っています。これに加えて、平成30年度より理学部から地球科学科が都市デザイン学部へ移行し、入学定員40名分が減少となりました。

この新会員数の減少に伴い、今までの納入金額では同窓会運営はかなり厳しい状況にあります。そこで、入会金2万円の会費は維持しつつ、10年会費を改めて毎年会費を集金する年会費という形に変更させてもらう提案を、令和元年（2019年）に開催された理学部同窓会総会に提出し了承されました。年会費は2千円であり、すべての卒業生・修了生

に納入のお願いをするもので、これに関する規則は次節の通りです。

10年会費の要項廃止に伴い、10年会費を今まで納めてくださった会員の方には年会費を3年間猶予することとしました。これらの会員の方には同窓会誌を送付する際に案内させていただきます。ご協力頂きありがとうございます。

なお、今後の同窓会活動を円滑に行えるよう、会員の皆さまには年会費に関して、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年（令和3年）11月18日

理学部同窓会会長 高井 正三
同窓会役員一同

富山大学理学部同窓会年会費集金に関する規則

令和元年7月27日制定

（趣旨）

第1条 この要項は、富山大学理学部同窓会会則第15条第5項に基づき、年会費の集金に関し、必要な事項を定める。

（年会費の額と集金方法）

第2条 年会費は2千円とし、毎年集金する。

（年会費納入の特典）

第3条 25年分の年会費5万円を一括納入する場合は、以後集金しないものとする。

2 累計25年分の年会費を納入した場合は、以後集金しないものとする。

（使用目的）

第4条 年会費は、主として理学部同窓会の会報の作成・編集・発行・発送に使用する他、4年ごとの同窓会名簿の発

行、毎年開催される理学部のサイエンス・フェスティバルの支援、同窓会支部活動支援、学位記授与式支援、理学部の教育・研究活動支援の他、理学部同窓会の目的を達成するための事業に使用するものとする。

（規則の改正）

第5条 本規則を改正しようとするときは、理事会の審議を経て、総会において決定するものとする。

附則

1 この規則は、令和元年7月27日から施行する。

2 富山大学理学部同窓会10年会費徴収に関する要綱（平成28年5月26日制定）は廃止する。

3 既に10年会費を納入した会員の年会費は、この規則施行後3年間集金を免除する。

年会費の納入状況を確認する方法

年会費の納入状況は宛名部分の印字で確認できます。

()	括弧内が空欄の方は年会費を納入ください。
(③)	以前「10 年会費」を納入された方です。 令和 2 年 (2020 年) 度から 3 年の猶予があります。令和 5 年 (2023 年) 度から年会費納入の対象となります。 詳しくは「富山大学理学部同窓会年会費集金に関する規則」参照
(20-1)	2020 年度に 1 年分の年会費を納入された方です。 2021 年度も年会費を納入ください。
(20- <u>数</u>)	2020 年度に <u>数</u> 年分 (複数年分) の年会費を納入された方です。 【例】 (20-5) : 2020 年度に 5 年分の年会費を納入された方です。 └─▶ 納入された年度 (この場合 2021 年度を表す) (21- <u>10</u>) └─▶ 何年分かを表しています (この場合 10 年分を表す)
(20-終身)	2020 年度に終身 (25 年分) の年会費を納入された方です。
(-)	年会費納入の対象ではありません。(準会員、特別会員等)

※年会費について、詳しくは「富山大学理学部同窓会年会費集金に関する規則」を参照してください。

令和 4 年版名簿発行のお知らせ

このたび、令和 4 年版同窓会名簿を発行する運びとなりました。
同窓生の皆様には、名簿掲載内容の確認はがきや名簿購入の案内状を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

- 名簿発行日：令和 4 年 3 月下旬
- 体 裁：A4判 (約400頁)
- 名簿価格：5,000円

名簿作成委託先

このたびの名簿作成は、正式な同窓会事業として株式会社サラト(兵庫県姫路市)に委託しております。
株式会社サラトのホームページ <https://salat.co.jp/>

巻頭言

名誉会長からのメッセージ

私は過去2年間理学部長として理学部の運営に携わってきましたが、今春引き続き理学部長を拝命いたしました。あと2年間理学部の運営に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

一昨年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、皆様方の生活にも多大の影響を与えていることと思っております。心よりお見舞いを申し上げますとともに、くれぐれも感染防止に心がけて健康にお過ごしくださるようお願いいたします。大学では、今年度は新型コロナウイルスの感染状況に応じて、遠隔と対面を使い分けて授業を行っています。オンラインによる遠隔授業の実施にも慣れてきたせいか、教員

理学部同窓会名誉会長 理学部長 若杉 達也



と学生共に昨年よりも落ち着いて対処できているように思います。今後、ワクチン接種の拡大など、新型コロナウイルスの感染防止の対策が進むにつれて、教育・研究への悪影響は減っていくものと期待しています。現段階では昨年度から引き続き、教育や研究・学生生活に不自由な状況が続いていますが、教職員一同が学生とともに、理学部の教育と研究を少しでも進めるよう懸命に取り組んでいます。私も理学部長として、教員一同と協力し合って、理学部の教育・研究の水準を下げないように、努力してまいりたいと考えています。より一層のご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

コロナ感染症収束後の同窓会活動の活性化に向けて

理学部同窓会会長 高井 正三(S48=1973, 物理学卒)



この間、このコロナ感染拡大を防止するため、殆どの行事が中止され、人々の交流が消滅しました。しかしながら、10月末にはコロナ感染症収束の兆しが見えてきました。私たちはこれから、かつてのように、人々が明るく交流できる社会を目指して、少しずつ活動を再開していきたいと思っております。

10月23日(土)には、富山大学主催で医学部同窓会が共催した富山大学ホームカミングデーが、『新型コロナウイルス感染症と富山大学の使命』と題し、オンライン配信を含め、杉谷キャンパスの日医工オーディトリウムで開催されました。シンポジウムでは、3つの講演が、附属病院長の林篤志様、附属病院看護部長の丸池小百合様、医学部長の関根道和様からあり、富山大学医学部と附属病院での取り組みの現状と課題が披露されました。

理学部同窓会では、コロナ感染症収束後の同窓会活動の活

性化に向けて、富山支部活動の再開、総会・講演会の再開、ホームページや広報を介して、同窓会員の交流の活性化を推進していきたいと考えています。組織強化委員会の大門朗委員長が提案していたように、富山支部を中心に、3ヶ月に1回程度の小スピーチと談話会を開催し、定期的な会員の交流・懇親を深めていけたら、同窓会の本来の目的を、少しは達成できると思っております。

総会をはじめ、これからの同窓会行事の案内は、同窓会のホームページに掲載しますので、下記のURLをご参照下さい。同窓生各位にはご理解とご了承をお願いします。

結びに、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(理学部同窓会のホームページ)

<http://www3.u-toyama.ac.jp/alumni4/>を参照)

富山大学理学部同窓会への寄付のお願い

送金先：ゆうちょ銀行 口座番号：00700-0-16829 口座名称：富山大学理学部同窓会

理学部同窓会活動を円滑に行うために、会員からの寄付を募ります。

一口5,000円で、何口でも、ご協力をお願い申し上げます。

※ 通信欄には「おところ」「おなまえ」の他に、「ご卒業学科」「ご卒業年」をお書き添え下さい。

※ 同窓会報等の発行物に、氏名の掲載を希望されない方は、その旨もお書き添え下さい。

※ 理学部同窓会会員から寄付されたご芳志は、理学部サイエンス・フェスティバルへの支援、理学部学位授与式・祝賀会支援、記念品贈呈、理学部同窓会広報 The Basis 発行費への補助に使用します。

特集 I : 岡部俊夫先生瑞宝中綬章受章を祝って

岡部俊夫先生のご研究とご功績の紹介

富山大学学術研究部理学系 教授 池本弘之

岡部俊夫先生の瑞宝中綬章受章をお祝い申し上げますとともに、私たちの存じ上げている範囲で先生のご紹介をいたします。

岡部先生は、1942年6月に京都府でお生まれになり、1971年5月に京都大学大学院理学研究科を修了されて理学博士の学位を授与されています。

1 富山大学において

岡部先生は、文理学部理学科物理3研中川正之教授の助手として、1971年5月に富山大学に着任されました。その後は、助教授を経られて1993年4月に富山大学教授、2008年3月に定年退職され、2008年4月に富山大学名誉教授になりました。富山大学での38年間のご在職中に、学部・大学院の教育および研究にご尽力なされ、236名(学士229名、修士48名、博士1名、重複あり)の学位取得者を育成されました。

岡部先生は、理学部評議員(1999年4月~2001年3月)、理学部長(2001年4月~2003年3月)を歴任されるなど、富山大学の管理運営に力を注がれました。教養部の廃止に伴う教養科目の再編では、全学の教員が教養教育を担当する全学出動方式の学部間の合意形成に、教育改善検討委員会委員として取り組まれました。評議員としましては、大学間の人間的つながりを重視した合意形成に尽力され、難航した2005年の3大学統合(富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学)実現の一翼を担われました。理学部長としましては、理学新校舎改築の際の研究室の再配分、総合研究棟の新築の

実現に多大な尽力をされました。また、工学部との折衝で粘り強い交渉力を発揮され、理工学博士課程設置を実現されました。

2 研究について

岡部先生は、電子顕微鏡の多彩な手法を駆使されて、アモルファス構造の実在を示されたり、準結晶デカゴナル相と近似結晶相の関連を解明されました。さらに、3次元形状のテトラポッド型針状結晶や一次元ナノワイヤー結晶など、機能性材料の作製法の考案とその成長機構の解明など、結晶物理学の発展に貢献されました。大型の高分解能電子顕微鏡の導入に尽力されて、材料科学研究分野のみならず生物学研究分野でも、多くの研究成果をもたらす礎を築かれました。

研究成果の学術誌・国際会議での発表、電子顕微鏡分野でのメッカであるベルギー・アントワープ大学における2度の在外研究員(1986年、2011年)での共同研究などを通じて、海外の研究者とのネットワークを築かれました。1999年にフランス・パリ大学セラ教授、1999年と2000年にポーランド・ワルシャワ工科大学コンチキ教授、2006年に中国・遼寧大学劉艶侠教授を、富山大学へ招聘されました。さらに、ポーランドとの定期的な国際会議を組織し、2002年には第4回日本ポーランド材料科学国際会議を実行委員長として富山で開催され、国内外から約200名の参加を得ました。

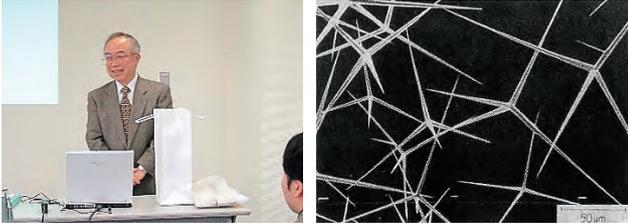
(1) テトラポッド型 ZnO 結晶の成長機構に関する研究

温度を離れた二段階酸化で粉末亜鉛を成長させることにより、数 μm サイズの4本脚微小結晶を生成されることに成



岡部先生退職時に開催した物理3研同窓会(旧呉羽観光ホテル)2008年3月、前より2列目中央が岡部先生

功されました。防波用のテトラポッドとの形態の類似性から、この新しい微小結晶をテトラポッド型微結晶と、岡部先生ご自身が命名されました。テトラポッド型 ZnO 結晶の走査電子顕微鏡観察、さらに高分解能電子顕微鏡による結晶方位関係の観察から、その成長機構も明らかにされました。それまでは、一次元針状微小結晶しか見つかっていませんでしたが、この研究により3次元型針状結晶の探索への道が開かれました。このテトラポッド型 ZnO 結晶は、その高い異方性のために、特異な物性が期待される新素材の一つです。また、温度を違えた酸化膜形成を制御することにより、形状に依存した新素材の開発が可能であることを提示されました。

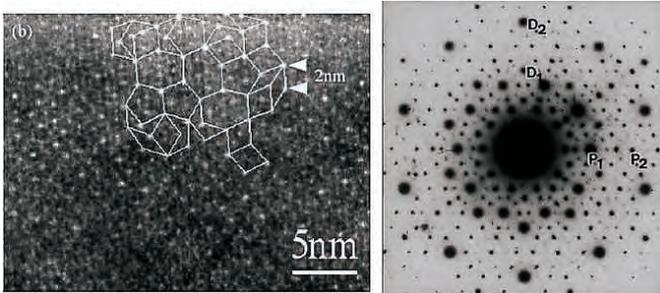


岡部先生最終講義

ZnO 結晶

(2) 高分解能原子像観察によるアモルファス Ge 薄膜の構造と結晶化初期過程に関する研究

真空蒸着により作製した Ge 薄膜の昇温時に5回対称形の高分解能原子像を観察され、周期性を有しないアモルファス構造から、ダイヤモンド結晶構造への変化機構を初めて解明されました。それまではアモルファス構造の存在は実証されていませんでしたが、5回対称性を示すアモルファス構造の実在を示されることにより、5回対称性が結晶構造の基層に存在するとの認識に繋がりました。

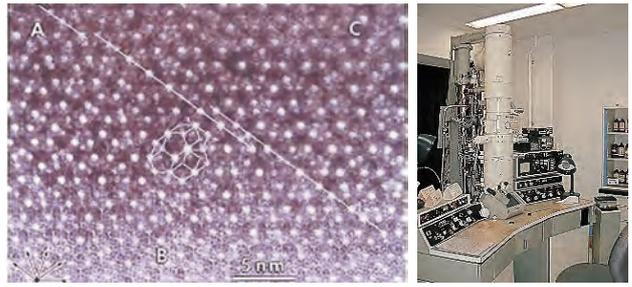


電子顕微鏡写真

電子線回折像

(3) 高分解能原子像観察による Al-Cu-Cr 系合金の準結晶

カゴナル相と近似結晶相の関係に関する研究



Al-Cu-Cr 系合金の準結晶

高分解電子顕微鏡

Al-Cu-Cr 系合金で初めて準結晶デカゴナル相を発見されました。さらに、その近似結晶相との原子配置構造の関係を解明され、近似結晶の核形成を経由して準結晶が成長することを原子像で示されました。準結晶の構造解析においては、それまでは回折手法のみが用いられていましたが、高分解能電子顕微鏡観察も重要であり、結晶相との相互関係を直接観察することが可能であることを示されました。

物理3研では、昼休みなどにコーヒーを飲みながら、岡部先生を囲んで教員と学生・院生が談笑していました。その際に、中川教授のご研究で、立山室堂平での5メートル以上の雪を掻きだしての降雪断面観察、観測後にみくりが池温泉から室堂山荘への帰り道でご覧になった星空の神々しさ、冬季の温度変化観測のために、大町から「黒部の太陽」に描かれた大トンネル、黒四発電所、吉村昭の「高熱隧道」を通して、志合谷に向かわれたことなどを伺いました。

研究室の年中行事として、物理教室の研究室対抗のソフトボール大会、能登でのキャンプなどの夏休みのゼミ旅行、卒業生の会社の寮にお世話になったスキー旅行などを、学生・院生といっしょに楽しみました。新4年生を迎えると、砺波のチューリップフェア開幕前日に出かけるのも、3研の恒例行事でした。

岡部先生は、ご退職後に富士山を望む八ヶ岳山麓に転居され、自然に囲まれた生活をなさっています。岡部先生には、物理学科をはじめとした理学部関係者を見守っていただき、これからもお元気で過ごされるように願っております。

「講義時間の20倍は勉強しなさい！」を常に肝に銘じながら

富山大学名誉教授、元総合情報基盤センター教授 物理3研 (S48=1973卒)

理学部同窓会会長 高井正三

岡部先生、この度の「瑞宝中綬章」の受賞、おめでとうございます。

岡部先生は、私が当時の大学3年生になった時に赴任された。3年生の最後に、どの研究室に行くかを投票で決めることになったが、一発で希望する研究室を決めることができた。私は、塩見君、西嶋君、西野君、吉村君の4人と、結晶物理学研究室に配属となり、研究テーマは「電子線回折によるドコサン(docosane, C₂₂H₄₆)の格子定数の決定」だったと思う。この研究に使用する大きな透過型電子顕微鏡は、倍率10

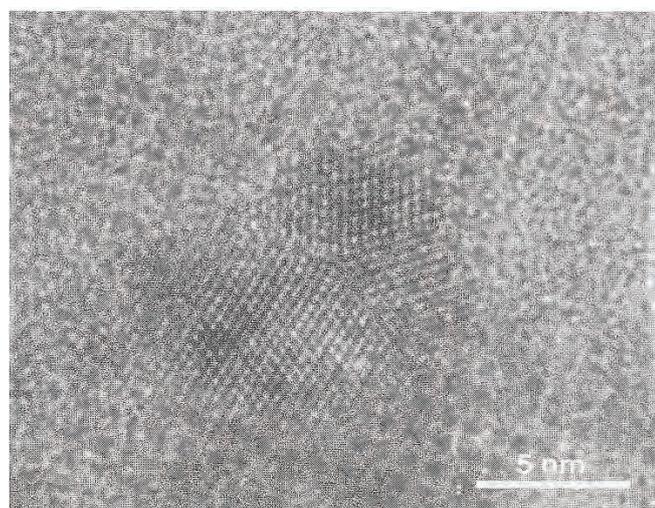
万倍で、高さが3mくらいあり、電子レンズの数も6段以上あったようだ。

この電子顕微鏡を使うためには、電子線が対物に当たるように、電子線の軸合わせをしなければならず、100個位ある電子レンズのつまみを、上から順番に調整する必要があった。その調整を根気強く行ってくれた岡部先生には感謝するしかない。お陰で、ドコサンの菱餅型のきれいな結晶に魅せられて、数多くの電子顕微鏡写真を撮影することができた。

撮影に使用するドコサンの結晶は、直径3mmくらいの円

形の極薄の銅板で、そこに更に 200 個くらいの円形の穴が開いている「メッシュ」と呼ばれている台の上に、カーボン蒸着膜を貼り、その上に結晶化させて作った。自称「200 メッシュ作戦」と名付けて、200 個のメッシュ×200 個の穴＝40,000 個の穴を、精力的に探して、価値の高い結晶を見つけ、その電子顕微鏡写真を撮影し、フィルムを現像し、印画紙に焼き付けし、乾燥させて、何十枚という写真を作った。

昭和 48 年 (1973 年) に卒業して、当時の富山大学計算センターに文部技官として就職した。その後、当時の結晶物理学研究室に顔を出しては、岡部先生から電子顕微鏡画像のシミュレーションを頼まれて、当時導入された中型電子計算機 FACOM 230-45S システムで、非晶質 Ge の結晶核構造を決定するため、マルチスライス法だったと思うが、高分解電子顕微鏡像のシミュレーション画像を作成した。

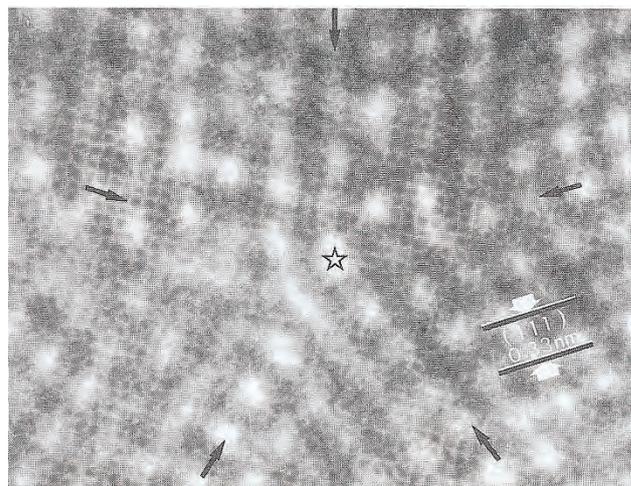


非晶質 Ge の結晶核

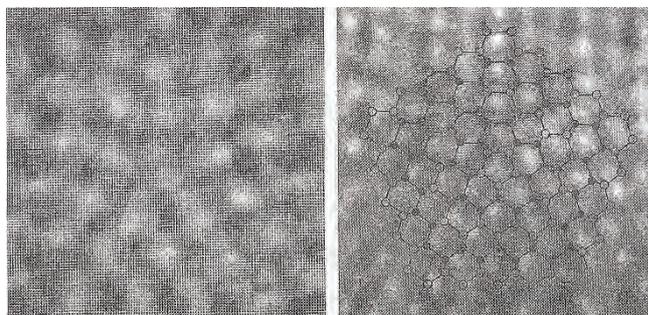
これが最初の共著者での英語論文「High resolution electron microscopic observation on pentagonal nuclei formed in amorphous germanium films, T.Okabe, Y.Kagawa, S.Takai, ICCG-9(The 9th International Conference Crystal Growth), 22aC04, pp.645, 1989.」となった。

15 年間の文部技官 (行一) を経て、情報処理センター時代に文部教官助手として、工学部電気工学科制御工学講座 (八木寛教授の講座) に 8.5 年間籍を置いた。

1989 年 (平成元年) 3 月に、「全学情報処理教育方法等の調査研究プロジェクト報告書」が出され、これを受けて、「情報処理教育科目」が全学的規模で実施されることになった。私も担当教員の一人として、はじめて授業を受け持った。



非晶質 Ge 結晶核の拡大写真 (0.33nm [111] 面と 5 対境界)



右のシミュレーション画像 実験での Ge 原子の電子顕微鏡像

その時に岡部先生からの言われたのが「講義時間の 20 倍は勉強しなさい！」だった。以来、この言葉を常に肝に銘じながら情報処理の授業をやってきた。

そして定年 1 年前までの 22 年間、情報処理科目の教科書を、富大生協、学術図書出版、富山大学出版会から出版することができた。最初の 6 年は「情報処理科目テキスト」、次の 7 年間は「大学生の情報リテラシー入門」、そして「大学生の情報リテラシー [第 1 版]」1 回の出版を経て、最後の 8 年間は富山大学出版会から「大学生の ICT 活用標準テキスト」を、毎年更新しながら、第 8 版まで編集・発行し、常に最新の ICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術)、技法と技能を提供してきた。

12 月から 3 月中旬までの間、原稿の編集から校正までを、土日を返上し、徹夜を繰り返して、遂行してきた。テキスト原稿の締め切りや校正に追われたことが、今では懐かしい。

このテキストは、富山大学出版の最初の教科書であり、講義時間の 20 倍を遙かに超える時間を、教科書の編集に費やしたことだけは事実である。



1984.4 物理学科ソフトボール大会 3 研メンバー



前列左端が岡部先生



2008 年退職時の同窓会報の写真から

岡部先生との研究課題でのエピソードと思い出

3 研結晶物理学研究室 1990 修士修了(物理 1988 年卒)

同窓会関東支部長 藤森 洋行

岡部先生、瑞宝中綬章受賞おめでとうございます。恩師である岡部先生が叙勲されたことを大変うれしく思っています。あらためて大学での素晴らしい研究成果や教育に貢献をされた先生の下で学ぶことができたことに大変感謝しております。

さて、修士での研究課題の選択時ですが、同期の高山さんが当時はやりの酸化物超伝導体の結晶構造解析を TEM (透過型電子顕微鏡) でやることになり、わたくしは準結晶というなじみのない結晶の構造解析を TEM でやることで、岡部先生から打診されました。結晶作りから始める必要がありましたが、準結晶は 1984 年にダニエル・シェヒトマンによって液体状態から急冷した Al-Mn 合金から見つかったものでした。論文のみでは作り方が十分にわからず、最初はうまく作ることができない状況でした。岡部先生と相談し、東北大学の金材研の蔡安邦らによって 1987 年に見つけられた準結晶である Al-Cu-Fe の論文をもとに、同じように作り解析できるかを開始しました。Fe の融点が高いことから、1 研にあったアーク放電による金属熔融装置をお借りして合金を作り、その後アニールし、結晶を作製しました。最初から比較的容易に、作製した結晶の中から、Al-Cu-Fe 準結晶が得られ、TEM での構造解析が進み、美しい 5 回対称の格子像写真が撮れていましたが、一つ大きな問題がありました。この Al-Cu-Fe 準結晶は論文のまねで、オリジナル性がないことでした。そこで、岡部先生に相談し、新しい組み合わせの合金を探して、それを作製、TEM 解析すれば良いのではとなり、組み合わせを検討しました。論文等を色々調べましたが、良いアイデアが浮かびませんでした。ある意味適当に Al-Cu-Cr として Fe を Cr に置き換えて作りたいと先生に相談しましたが、その組み合わせでは準結晶ができないとの論文があるとの指摘を受けました。しかしながら、M2 となり、時間が無かったため、ダメもとでトライアルをさせて頂き、合金作製をまずして TEM 観察を実施しました。中々、見つからず、苦戦しましたがようやく狭い領域で準結晶構造になったものが見つかりました。次にアニールして安定した構造での準結晶になっているかを TEM で見たところ、アニール前とちょっと異なる構造が見られ、早速、TEM 写真や電子線回折像解析し、どうも二次元の準結晶で Z 軸方向には並進対称性があるようでしたので、岡部先生にお見せし、3 次元準結晶ではない、別の合金系で見つかった、新しい 10 回対称構造の準結晶構造と同じではと報告したところ、「本当ですか？」との返事で、最初は、新しいものが見つかったこと認めていただけませんでした。その後、先生も新しい構造と理解されました。また、Al-Cu-Cr 系準結晶は後輩の森下さんや降旗さんが丁寧にデータ取りをしてくれ論文になりました(1)。残念ながら、自身の手で論文までにいけませんでした。大変良かったと思います。課題設定時には色々ありまし

たが、良い結果となり、岡部先生には大変感謝しております。



在りし日の砺波チューリップ公園での 1 枚

次に、実験装置での水晶発振器見つけのエピソードをご紹介します。当時、研究室には二元蒸着装置というものがあって、金属の薄膜を蒸着によって形成するものになります。膜厚を制御するために水晶膜厚振動法が用いられていて、それには水晶の薄板が必要でした。昔のブラウン管方式の TV ではこの薄板の水晶が使用されている水晶振動子が 1 個は入っていたことから、古い TV が捨てられているときにはこの水晶を見つけると助かるのお話が岡部先生からあり、皆でゴミ捨て場等に面白がって探しに行ったことがありました。

岡部先生との思い出やエピソードはまだまだあります(夏の有峰湖でのキャンプなど)。その後社会人ドクターコースに入学させて頂きました時や、結婚式に仲人としてご夫婦で来て頂いた等、いろいろな思い出がたくさんあります。また、機会がありましたら、ご紹介させて頂きたいと思います。



当時の本人



同窓会で訪れた時

最後になりますが、岡部先生のおかげで、とても充実し、楽しい修士の 2 年間でした。岡部先生にはこれからもお元気でいて頂ければと思っています。また、コロナ禍が収まった時には是非お会いしたいと思います。

(1) "Decagonal phase and pseudo-decagonal phase in the Al-Cu-Cr system" Philo. Mag. Lett., Vol.66, 1992, Issue 5 Pages 259-264, Toshio Okabe, Jyun-Ichiro Furihata, Kouji Morishita and Hiroyuki Fujimori

コロナ禍でのサイエンス・フェスティバル

第13回サイエンス・フェスティバル実行委員長 生物学科 3年 長瀬茉莉

サイエンス・フェスティバル2020を2020年10月3日(土)に開催しました。

例年は9月の最終週の土日に、本学理学部棟に來場していただき、実際に体験していただいたり、現象を見ていただいたりして開催しています。今年度につきましては世界中で猛威を振っている新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催での開催をいたしました。10月3日はサイエンスラボと称しまして、本学佐野晋一研究室の方々をお呼びして「化石のひみつ」についてご講演いただいたほか、例年行っているサイエンス・カフェ、サイエンス・ショーなどの企画をオンラインweb会議システム「Zoom」を用いて実施しました。その他に、学生が身近な科学現象や大学での研究内容、家でもできる実験などについて紹介する記事を作成し、公開していました。



佐野晋一先生による講演「化石のひみつ」の様子

今年度の開催について、一時は中止することが危ぶまれましたが、例年とは異なる形でも無事に終えることができました。この場をお借りして、これまでかかわって来てくださった方々に深く御礼申し上げます。おかげさまでサイエンス・フェスティバルは、理学部の先輩方によって長く築かれており、世界中が非常事態の中でも開催を中止せずに次の世代へ受け継ぐことができました。88名の方々から参加登録をいただきました。参加して下さった多くの皆様にも重ねて御礼申し上げます。富山県、愛知県のほか、東京都や大阪府、香川県など日本中、さらにはマレーシアからもご参加いただきました。

オンラインで開催したことがなく、多くの不安や葛藤がありました。開催をするか否かの決定は夏より少し前の時期で、オンラインでやるならどのようにしておこなうのか、なにをつかってやるのか。手段にしても内容にしても前代未聞のため、まっさらな0の状態から作り上げていくことは大変でした。内容についても試行錯誤の途中で右往左往しながらになってしまい、協力してくれた方々には感謝しきれません。例年では、子供たちを目の前にして実験をしたり、科学現象を

おこして見てもらったり、一緒にパズルをといたり、などと楽しい実験ブースをつくっています。今年度は科学に関する記事の作成をお願いし、活動内容としてはレポート作成のようなものでした。実行委員でも例年では行わない動画作成に挑戦しました。ひいひい言いながらも準備を進め、無事に当日を迎えることができました。

サイフェスは來場してくれる子供達に科学の楽しさを感じてもらうために毎年開催しています。私たちはコロナ禍で科学館や博物館にもいけず、科学に触れる機会が減っています。そこで、自宅でも科学を楽しむことができるような内容にしようと考えました。実行委員会の企画では、牛乳からプラスチックを作る実験などを紹介しました。子供たちの楽しそうな姿を見ることができなかったのは残念ですが、お家でも科学を楽しんでもらえていたら嬉しいです。

コロナ禍でのサイフェスで大変だったことは大きく2つあります。一つ目は「例年通り」というものがほとんど使えないということです。前例がなく、工夫しながら0(ゼロ)から生み出す必要がありました。二つ目はコロナ禍で積極的に人を集めて仕事をすることができなかったことです。例年は準備、会議などでみんな集まって行っています。オンラインに移行しはじめの時期で私も含めてみんな不慣れな中で、オンラインで会議や準備をするのは大変でした。対面での会議なら相手の様子を見ながら話を進めたり、近くの人と話し合いながら話を進めたりすることができます。オンラインではこのようなことができません。また、サイフェスはいつも縦や横の繋がりが生まれながら開催がされています。これまでのサイフェスを思い返すと先輩、後輩どうし力を合わせながら作られるもので、それがサイフェスの醍醐味とも思っていました。今回は個人での作業が多くなってしまったのが残念な点でした。

私自身の大きな反省点は、2つあります。一つ目は新型コロナウイルスに感染する人が出たらどうしようとか、今までやったことがない中で本番はどのようにしようとか、これまでの経験を生かすことができず、不安が大きくなってしまい、楽しく運営することを忘れてしまっていたことです。二つ目は、コミュニケーションを怠ってしまったことから、一人で抱え込み、仕事を振ることがうまくできなかったことです。後学期からは対面授業も始まり状況も少し変化したとは思いますが、オンラインでもうまくコミュニケーションを取るコツが必要だと感じました。

これからも、オンラインでもオフラインでもみんな協力してさらに進化させながら、より良いサイフェスになっていくことを願っています。

実行委員長の仕事は思っていたよりも大変で、これまでの

先輩方はどうしてできていたのだろうと思うことばかりでした。至らない点ばかりで頼りない実行委員長だったと思います。たくさんご迷惑をおかけしましたが、感謝しきれない気持ちでいっぱいです。実行委員会としてサイフェスの運営に関わるのは三回目でしたが、実行委員長になってから初めて知ったことも多く、サイフェスが本当に多くの方々の協力のもとで成り立っていることを知ることができました。先生方、教務や総務の方々、情報基盤センターの方、実行委員、学科代表、企画を作るのに協力してくれた皆様、サイフェス

と一緒に作ってくれたすべての方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



オンラインのサイエンス・フェスティバル

第13回 サイエンス・フェスティバル副実行委員長 化学科3年 荻原明日香

2020年のサイエンス・フェスティバルは、10年以上続くサイフェスの中で異例の完全オンラインでの開催となりました。内容はホームページとzoomによる配信でしたが、配信機器の調整や質問コメントへの管理対応など、例年のマニュアルでは対応しきれない問題点が数多くありました。中でも特に難しいと感じたのは、情報の伝えにくさでした。オンライン形式では、子供や大人など、様々な人に対して同時に一方的に情報を伝えることになり、対面形式のように相手に合わせたコミュニケーションが取ることが困難なので、誰でも伝わるようなコンテンツを作るために、工夫が必要でした。

他にも多くの課題が残る開催となりましたが、そのぶん、対面でコミュニケーションを取れることのありがたみを強く感じました。今後の開催がどのようになるかまだ分かりませんが、今回での学びが今後の発展の一助となる事を願っています。

最後に、同窓会の皆様、企業の皆様、理学部長を初めとする先生方、教務や総務の方々、実行委員、学科代表をはじめとする各学科の方々、多くの方々のご指導、ご協力のおかげで2020年のサイエンス・フェスティバルを無事開催することができました。心より厚く御礼申し上げます。

サイフェスの歴史にまた1ページ

数学科代表 3年 瀬野汐恩

◆メッセージ

今までにない形でのサイエンス・フェスティバルで学科代表、実行委員皆さんわからない状態で始まった夏を思い出します。そのような状況下でもネット上での情報のやりとりや直接指導できない中電話などを利用しなんとか完成させたのがサイエンス・フェスティバル2020だったと思います。これは数学科だけでなくすべての学科に共通して言えることであると思います。少し心残りなのは学科同士の交流がオンラインというのもあって少なくなってしまったことです。

今回オンラインでするサイフェスをやって、一緒に考えることや教えながら手を動かすなどができなくなり、また毎年人気の“折り紙ブース”での教える・見せるなどが困難でした。私はこのようなオンラインでのサイフェスでは、画面越しでも楽しめ手を動かせる工夫が今後は必要と感じました。今年数学科では使えなかったZOOMを利用した参加型のものや動画化したものを来年は期待したです。そのためにはた

くさんのメンバーや先生方の協力が必要不可欠であり、大変難しいものだと思います。また、内容やブースもより新しいものを探究するならやはり他学科との交流は課題であると考えます。ぜひ来年以降の学科代表には頑張ってください。

■数学科企画紹介

☆符号理論

内容：身の回りの符号理論としくみ

☆ABC予想

内容：2020年夏認められたABC予想の証明の概要

☆確率

内容：考える確率

☆メビウスの輪

内容：謎の輪“メビウスの輪”について考える。

一人ではできなかったこと

物理学科代表 2年 前田佳凜

◆メッセージ

今年度は異例続きのSFでした。6月。まだ2年生という立場で学科代表になりましたが、オンライン授業のため人に会えない中でのメンバー集めは思うようにはいかず。同級生と3年生の協力が全くないままにスタートしました。初のオンライン開催ということで参考にできる前例はありません。入学したての1年生と私だけで一体何ができるだろうかと頭を抱える日々でした。そんな中、頼みの綱であった先輩方がこころよく力を貸してくださり心強い助けを得て無事にSFを終えることができました。今回のSFがうまくいくように支えてくださった、4年生・院生・教員の皆さま、並びに力不足な私についてきてくれた1年生の皆さん、本当にありがとうございました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

■物理学科企画紹介（ブース名称、内容、メンバー）

☆研究内容紹介

内容：富山大学物理学科の各研究室の研究内容を知ってもらう。研究の面白さに気付いてもらう。

2年：前田佳凜

☆お家時間で作ろう！

内容：家庭で小学生でも簡単に作れる装置、霧箱で宇宙線を見てみる。

1年：西川諒哉，大角将勝，大谷直也，高田光，河合創太

☆重力波望遠鏡 KAGRA について知ろう！

内容：富山大学も共同研究している国際プロジェクトの重力波観測について興味を持ってもらう。

2年：前田佳凜、1年：鈴木諒人，他1名

化学を身近に

化学科代表 3年 田中慶人

◆コメント

皆さんの身の回りには多くの化学であふれています。例えば、色鮮やかな花火は炎色反応を利用しているというのは有名な話です。そういった化学を身近に感じていただきたいと思い、例年このサイエンス・フェスティバルの場を借りて、皆さんに実験をしていただいていた。しかし、コロナウイルスの影響により、皆さんとお会いするのが難しく、今年は電子媒体で原理の紹介のみという形になりました。学科代表としてもっとできることがあったのではないかとと思うところもあります。しかし、化学というのは体験してこそ真価を発揮するものと考えています。次のサイエンス・フェスティバル等で皆さんに化学を身近に感じていただければと思います。

■化学科企画紹介（ブース名称、内容、メンバー）

☆あじさいの色の变化の不思議

内容：あじさいの色が変化する原理をわかりやすく説明した。

3年：海原 向日葵

☆お金で作る電池

内容：硬貨を用いて電池を作り、その原理を説明した。

3年：岡 昌宏

☆消えるボールペンの不思議

内容：消えるボールペンの原理をわかりやすく説明した

3年：永森 優香

☆スケルトン卵

内容：透明な卵を作る原理をわかりやすく説明した

3年：宮前 朱里

☆スライムの仕組みを知っちゃおう

内容：スライムができる原理をわかりやすく説明した

3年：山本 望

☆マヨネーズ作り

内容：マヨネーズ作りの原理をわかりやすく説明した

3年：宮内 大輔

☆気化熱

内容：気化熱の原理をわかりやすく説明した

3年：宮崎 優大

☆原子の小ささを体感しよう

内容：原子の小ささをわかりやすく説明した

3年：荻原 明日香

身近にあふれる不思議

生物学科代表 3年 川崎 光

◆メッセージ

サイフェスを通して何気ない日常にもたくさんの疑問があると気付かされました。企画を考える上で、どうやったら読者に興味を持ってもらえるかを考えました。その中で、身近な疑問を生物学の視点から解説して、科学に興味を持てるテーマを選びました。日常生活の中にはたくさんの不思議なことがあり、テーマ選びは大変でした。しかし、1番大変だったのが伝え方でした。自身でも理解することが難しい題材を説明できるのか、とても不安でした。それも読者は主に小学生なので、どのように伝えるべきか解説の内容や表現に四苦八苦しました。今回の活動で伝え方の大切さを改めて学ぶことができました。記事の添削に協力してくださった先生方にはここで改めて感謝を申し上げます。

今回は異例の形での開催となりました。こんな時期だからこそ、科学に興味を持ってもらえる良い機会だった考えます。今回の記事を読んでくださった方々が科学に関心を深めていただければと思いました。コロナ禍は当然収まりそうありませんが、次回のサイフェスも今年度より良いものにしてくれると期待しています。

■生物学科企画紹介（ブース名称、メンバー、内容）

☆割りばしは悪ではない 3年：川崎 光
内容：割りばしの原材料等についての説明

☆記憶力アップ 長期記憶について 3年：川崎 光
内容：脳内の記憶プロセスなどの解説

☆パンを科学する 3年：川崎 光
内容：発酵の仕組みについてパン作りを通して解説

☆光合成とは何だろう 3年：川崎 光
内容：光合成のプロセスについて解説

☆酵素とは一体何？ 3年：川崎 光
内容：酵素についてとその働きを解説

☆卵の殻はひよこのバリア 3年：川崎 光
内容：卵の殻の役割解説と卵膜を観察する実験紹介

☆ウイルスとは 3年：川崎 光
内容：ウイルスとは何か、細菌等との違いを解説

☆細胞呼吸とは 3年：川崎 光
内容：細胞中でどのようにエネルギーを産生されるかを解説

☆植物の免疫 3年：川崎 光
内容：植物病原菌の感染方法と防御反応について

☆私達の体温について 3年：川崎 光
内容：1日の体温変化と平熱とは何か等の解説



卵膜の観察実験の紹介記事から

科学のおもしろさを伝えるということ

生物圏環境科学科代表 3年 人見颯馬

◆コメント

今年のサイエンス・フェスティバルはコロナ・ウィルスの感染拡大により、インターネット上での異例の開催となりました。サイエンス・フェスティバルを準備する私たち学生にとって、また開催を楽しみにしていただいた来場者の方々にとっても先の読めない不安な開催になったのではないのでしょうか。それでも私たち生物圏環境科学科の学生はそれぞれの得意分野についての記事を作成し、いかにわかりやすく、おもしろく、それでいて専門性の高い内容の記事が作れるよ

う努めました。

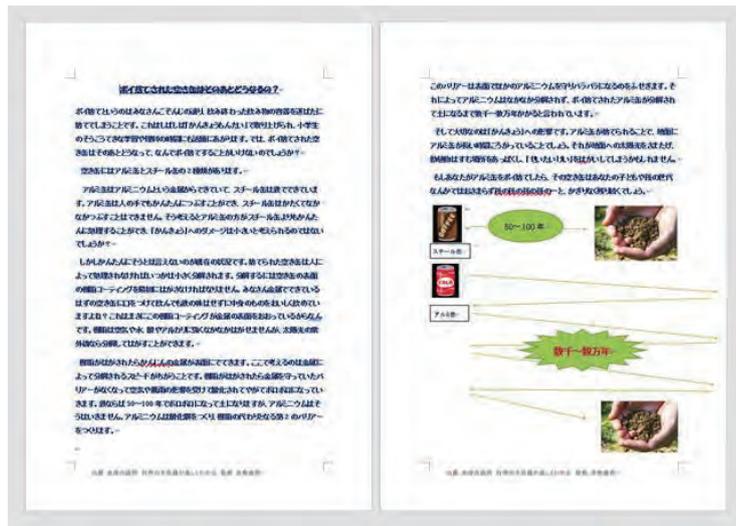
私たち生物圏環境科学科は環境科学という分野の学問を学び、人と地球の持続的な共存を目的として日々学んでいます。記事のテーマを考えるにあたって、地球温暖化や海洋大循環の世界規模のものから、レジ袋についてのタイムリーな問題、ポイ捨てされた空き缶のその後やトマトの赤みの謎などの身近な疑問に至るまで閲覧される方々の興味を幅広く満たすことができました。

異例のオンライン開催に難儀したところもありましたが、

無事記事の掲載ができて良かったです。これからのサイエンス・フェスティバルで科学の魅力を知り、科学を好きになる人が1人でも多くなるよう願っています。

■生物圏環境科学科企画紹介 (No.ブース名/メンバー)

1. イタイイタイ病の歴史 / 3年: 人見颯馬
2. 槽を使った水循環 / 3年: 小林直樹
3. 化石からわかること / 3年: 山口圭一
4. リン酸について / 3年: 清水遼太
5. 古生物① / 3年: 古閑涼太
6. 古生物② / 3年: 古閑涼太
7. レジ袋について / 3年: 小林直樹
8. なんでトマトは赤いの? / 3年: 前田一統
9. ポイ捨てされた空き缶のその後 / 3年: 人見颯馬
10. 高山植物 / 3年: 堀中将大
11. 地球温暖化 / 3年: 石丸明日翔



記事 (ポイ捨てされた空き缶のその後)

サイエンス・フェスティバルを振り返って

地球システム科学科代表 3年 碓井大成

◆メッセージ

皆さんもご存知の通り、今年度のサイエンス・フェスティバルは新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となってしまいました。私個人は3度目のサイエンス・フェスティバルでありましたが、もちろんオンライン開催の経験などなく、そう聞かされた時は大変戸惑いました。我々の学科の例年の展示は実際に体験してもらうものが多かったのですが、今年の展示内容を企画する際はメンバーとともに頭を悩ませました。ですが、そのメンバーや先輩、先生方のご協力のおかげで無事に開催することができました。お世話になった方々には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

次回のサイエンス・フェスティバルについてですが、今までよりも子供たちが科学に興味をもつようなものにしてほしいです。次回のサイエンス・フェスティバルがまたオンライン開催になるのか、それとも例年通りの開催に戻るのかまだ分かりませんが、このようなイベントは企画側も、来場者側も非常に多くのことが学べる大変貴重な機会だと思います。来年度のサイエンス・フェスティバルがより良いものになるよう応援しています。

■地球科学科企画紹介 (ブース名称、内容、メンバー)

☆気水ブース

内容: 身近な気象現象について紹介

3年 青島美穂、小野有紀、草野優一郎、二宮秀、見上有蘭

☆雪氷ブース

内容: 雪や氷河といった雪氷現象について紹介

3年 碓井大成、岡田拓己、杉山潤、島山葉

☆地物ブース

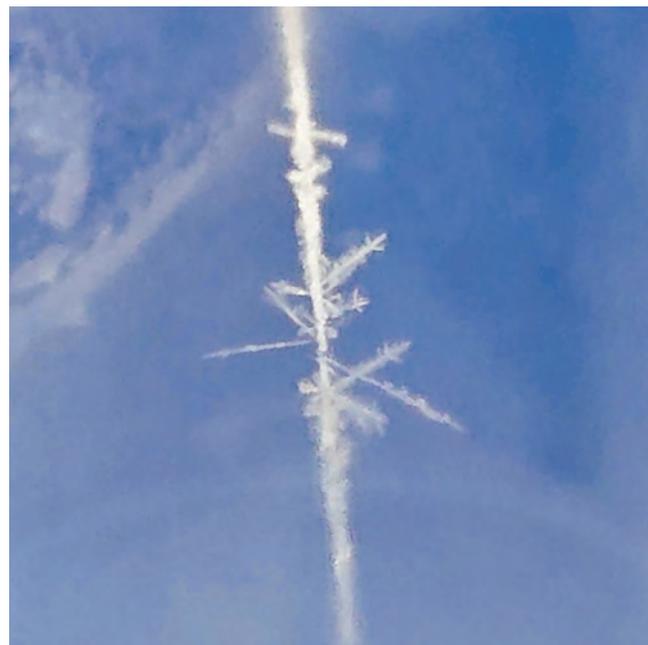
内容: 地震とそれに伴う現象についての紹介

3年 斎藤尚人、水戸優香

☆進化ブース

内容: 化石や岩石などについての紹介

3年 伊藤綾花、笹谷香菜、坂東晃紀、望月ちほ



実験で作った雪の結晶

特集Ⅲ：キャンパスを振り返って

大学生活を振り返って

2021年（令和3年）数学科卒業 末岡 透

富山大学に入学してからの4年間はとて早く感じました。

3年目まで学業、部活動や塾講師としてのアルバイトに打ち込み、大学での毎日は多忙であり充実したものだったと思います。用意された答えを求めることに重点を置いた高校までの数学と異なり、定義、定理に対して正しく認識することが重要な大学での授業はとて新鮮で、今までになかった考え方を得る貴重な機会になりました。また、部活においては大会の規模、練習のクオリティが高校までのものと大きく異なり、何もかもハイレベルで飽くことのない毎日が送れました。この充実した毎日があったのは私を支えていただいた周りの方々のおかげであると思います。

4年になりゼミが週に一回であるため、以前ほど学校に行くことも無くなり、また今年はコロナウイルスの影響でゼミ自体がオンラインとなり学校に行かない週もありました。以前から積極的に参加していた部活も自粛となり昨年入学してきた1年生との深い交流も出来ず、大学生生活最

後の年として私の思い描いていたものに比べ空虚なものだったと思います。また、自粛生活の影響で生活リズムが乱れてしまい、昼夜逆転してしまう、体調を崩しやすくなる、運動不足でストレスが溜まりやすくなり、よく苛立つようになってしまうなどと、散々な有様でした。このままでは良くないと感じ、昼夜逆転を治すことで生活リズムを正し、家でも毎日軽い運動をしてストレスを発散することで元の生活に近づかせることができました。このような身の回りの小さなことに気を付けたため、結果的に無事大学を卒業できたのだと思います。

私は院進するため、もう二年ほど富山大学で数学を学びます。より一層勉学に励むことは勿論、新たな出会いや発見に胸を膨らませています。しかしその反面、今年のようなオンラインでの授業や自粛が続き、また充実しない生活になってしまうのではないかという不安もあります。この不安を解消するためにもいち早くコロナウイルスが収束することを心から願っています。

富山での6年間を振り返って

2021年（令和3年）大学院理工学教育部（数学専攻）修了 松井一樹

富山での6年間を振り返ると、とて濃く、そしてあっという間だったように思います。慣れない土地で一人暮らしを始め、数学だけではなく様々な分野を学んだ学生生活、1年生から約5年半続けたアルバイト。この6年間で得た経験は、自分にとってかけがえのないものとなりました。その中でも特に印象に残っていることをいくつか紹介します。

1つ目は、「数学」を学ぶことができたことです。私は高校のときから数学が得意な方だったのですが、大学数学とのギャップから、1年生でいきなり頭を悩ませることが多々ありました。それでも諦めずに、友達と夜遅くまで数学の勉強をし、数学を学ぶ楽しさを見つけたことができたことで、今の自分が在るように思います。そして、富山大学で数学の楽しさを学んだことで、数学の教員になりたいという夢を叶えることができました。

2つ目は、ゼミで得た経験です。私は4年生から修士課程2年まで藤田安啓教授のゼミに所属しており、偏微分方程式という分野を研究していました。そこでは、数学における知識はもちろんのこと、人に伝わりやすい話し方、論理的思考能力、問題の本質を見抜く力を養うことができまし

た。特に、修士2年での発表会のスライド作成では、本質を分かりやすく伝えるための技術を学べて、社会人になっても生きる力を得ることができました。ゼミに所属して3年、私はこのゼミで数学を学ぶことができて本当によかったと思います。藤田先生には心から感謝致します。

3つ目は、長い学生生活で続けたアルバイトでの経験です。「アルバイトと言ったら接客業かな」と思い、1年の夏にアルバイトを始めました。初めて「働く」ことを経験し、働く厳しさや楽しさを見出すことができ、修士課程まで続けることができました。さらには学生では経験できない、マネジメントという立場を経験し、コミュニケーション能力だけではなく、相手の立場になって考える力を養うことができました。

最後になりますが、この6年間を振り返ると、たくさんの方々にも恵まれ、成長できた6年間だったと思います。大学生生活最後まで親身にご指導して下さった藤田先生をはじめ、数学科の先生方、技術専門職員の狐塚さんには大変お世話になりました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

昨年度と今年度

2017年（平成29年）大学院理工学教育部（数学専攻）修了 齋藤祐助

現在私は高校の教員をしている。今回はコロナウイルスの影響によって生じた変化について述べていきたい。

まず、1年の始まりである入学式は中止となった。その代わり、別に登校日を設け、各クラスに集まり、校内放送で入学式のようなことを行った。その後、緊急事態宣言によって長い休校期間が始まった。休校期間中の課題を急遽作成し郵送で送った。4月いっぱい予定だった休校期間が5月いっぱいまで延長となった。これにより追加の課題を作ることになったのだが、休校中は保護者の方も自宅におり、課題を確認している家庭も多くいた。そのため、保護者の方も見て楽しめるようなコラムを課題の後ろにつけて発送をした。後日保護者の方から「面白かった」と言ってもらえた。

この4、5月の休校期間中に今後の学校生活における感染予防対策、学校行事、ICT教育に関する会議が繰り返し行われた。

感染予防対策としては、毎朝の登校口での検温、発熱のある生徒への対応、マスク着用、食事中は前を向いて私語厳禁、放課後の机等の除菌、クラス内の換気などがあげられた。

学校行事に関しての論点は、中止にするか、やるならば感染予防対策はどうするのかである。安全性からは中止にすべきであるが、生徒（特に3年生）の思い出作りの場、卒業アルバムに載せる写真が少なくなってしまうことから、なるべくやらせてあげたいという教員が多くいた。

また、ICT教育に関しては、来年度から本格的に始動できるよう、タブレット等の準備前倒しに進めた。そのほかには、

電子黒板を各教室に配置し、全校集会の代わりにリモートで集会を行い、密になることを避けられるように準備し、登校再開までに間に合った。

休校期間後の2週間は分散登校を行い、その後は例年通りの登校となった。生徒はマスクをしており、教員側は生徒の顔を覚えることに苦勞し、生徒同士でも、私語を慎むよう伝えられているため、クラス内での友達作りに苦勞をしていた。

部活動の方でも、各種大会の中止であったり、練習の制限だったり、などが行われた。

今年は、例年通りという言葉が使われることはなくなった。昨年度までがちゃんと「過去」のこととなり、今年からどうしていくかという議論が多くなっていった。このコロナウイルスによって、いろんなものや事が変化していったが、これは進化でも退化でもなく「変化」であるという認識が大切だと思う。「昔はこうだった」「例年と違う」などと言っている暇はなく、環境の変化に対応し順応していくことが大切で、過去のデータはあくまでも参考であり、それを踏まえどう対応すべきなのか考えることが大切だと感じた。

最後に、私が生徒たちに今年1年伝えてきた事は、このコロナウイルスは近い将来必ず、歴史の教科書に載るくらいの問題であり、その渦中に今いるということである。いろいろ制限されて生徒たちは過ぎているが、これもいつしか過去の話になることを願っている。

充実した大学生活を振り返って

2021年（令和3年）大学院理工学教育部（物理専攻）修了 佐々木照太

富山大学で過ごした6年間はとても充実しており、富山の魅力を堪能することができました。また多くの友人に恵まれ、様々な経験を通して喜怒哀楽を共にすることができた6年間でもありました。大学生活での経験をいくつか紹介します。

・スマイルフェスティバル

私はスマイルフェスティバルの巨大迷路という企画に5年間携わり、学部異なる学生との交流を深めることができました。この活動に参加した当初、知り合いが少ない環境の中で続けられるのか心配でした。しかし、体育館一面を利用して作る迷路は想像以上に壮大かつ精巧なものであり、製作中に苦樂を共にできたことで、今ではかけがえのない友人となりました。特に迷路を完走した子供たちから、「難しかったけど、別世界にいるみたいで楽しかった。もう一回挑戦したい。」という言葉を受けた瞬間、喜びで友人とガッツポーズしたことは良き思い出です。コロナ禍で、対面での開催が厳しい状

況となりましたが、また来年度以降に巨大迷路を体育館に製作し、子供たちと交流できる日が来ることを願っています。

・研究活動

私は大学4年から修士課程2年までの3年間、レーザー物理学研究室に所属し、「超伝導レニウム微粒子の光学特性」について研究を行いました。私はこの研究活動を通して、学んだことが2つあります。1つ目は、「挑み続けること」です。2つ目は、「何事もとりあえずやってみること」です。

この研究では、液体ヘリウムを用いて実験試料を絶対零度の付近まで冷却する必要があるため、実験装置は複雑かつ実験準備には多くの時間が必要でした。また、1週間にわたる実験準備を経て、ようやく実験ができると思えば、予期せぬトラブルに見舞われ、実験中止となることもしばしばありました。しかし、理論に基づいて実験条件を変更し、「とりあえずやってみる」ことを繰り返したことに加え、満足いく結果が得られるまで「挑み続けた」ことで、最終的には自身の

研究目標を達成することができました。この研究活動から学んだことを今後の社会人生活にも活かしたいです。

・コロナ禍における生活の変化

コロナウイルス感染症が拡大し始めたのは、自身が本格的に就職活動、研究活動を始めた矢先のことでした。Zoom、Skype といった Web 会議ツールが浸透し、自身の生活もオンラインが中心となりました。当初は、この先の就職活動、研究活動がどうなるのかとても不安な毎日でした。しかし、そんな中でも研究室の同期とオンライン飲み会を開催し、お互いに励まし合ったことを覚えています。また、同期とはオンラインでの面接練習を行い、お互いを高めあうこともできました。その甲斐あって、先行きが不透明な就職活動を乗り越えることができましたと思います。研究室の同期にはとても感謝しています。研究活動が満足にできない不自由な状況でしたが、コロナ禍だからこそ身に付いたスキルがあります。オンライン会議では、沢山のレジュメや報告書を作成する機会がありました。こうした経験を通して報告書の作成スキルを向上することができ、人に伝える力を身に付けられたと思います。



研究室の同期と立山登山

最後になりますが、私の担当教員である森脇先生をはじめ、物理学科の先生方、機器分析施設の平田さん、山田さんには大変お世話になりました。論理的思考力、問題解決能力および物事の本質を見抜く洞察力を養うことができました。また、先輩方、同期、後輩達の協力や励ましもあり、充実した研究活動、ボランティア活動に取り組むことができました。この場を借りて御礼申し上げます。

コロナウイルスが教えてくれたこと

2021年(令和3年)化学科卒業 佐藤佳輔

私たちが所属する理学部化学科は4年生になったとき、研究室に配属し個人の研究をすることになっています。その一員である私は、無事3年生後期の期末考査を終えて晴れて4年生に進級でき、研究に専念することを待ち望んでいました。しかし、物事は順調に進んでくれませんでした。待ち構えていた現実、コロナウイルスが蔓延したことによる感染拡大予防の徹底に努めることでした。その結果、PCを用いた遠隔授業に、停滞する研究、学生食堂や図書館の営業時間の短縮といった、これまで当たり前だと感じていたものの制限により、私たちは不便で精神的にも窮屈なキャンパスライフを送らざるを得なくなりました。感染拡大に歯止めをかけるという意味では仕方がないとはいえ、このような不自由な生活を強制させたコロナウイルスに対する憎悪は計り知れません。

しかし、コロナウイルスが私に気づかせてくれたことがありました。それは、人と繋がることの大切さです。昨今のコロナウイルスに関する暗いニュースの連続や外出自粛要請の呼びかけにより世の中に閉塞感が募り、心待ちにしていた研究や慣れている一人暮らしも苦痛に感じてしまい、心にゆとりがない状態が続いていました。そんなとき、一通の電話がありました。それは自分の体と身の回りを心配してくれる家族からの電話でした。私に話しかけてくれるその声は明るく、気遣ってくれているものだと感じましたが、それが逆に

実家から離れて暮らす私のせいで心配をかけてしまっているのではないかと申し訳なく思っていました。ですが、自分に余裕がなくなっていたからこそ、家族は普段通りに接してくれたのだと思います。私は今の心境を素直に吐露しました。正直に話した途端、蟠りが解け、意欲が湧き、どんな困難も乗り越えようという気分になりました。そして、辛くて苦しい今だからこそ人に寄り添いながら人の心を労る気持ちが重要だと改めて実感し、それから積極的に人と関わることでキャンパスライフを豊かにすることに意識を傾けていきました。今の私があるのは、苦楽を共にした友人、厳しく指導しながらも学生の成長を喜んでくれる先生方、そして、他の誰よりも暖かく見守ってくれる家族が私のことを支えてくれたからだと思えます。嵐のまっただ中で味わった経験は、修士課程に限らずこの先の人生で大きな意味を持っているのではないかと思っています。

夜が明けた時、世界はコロナ禍以前よりもずっと良い状況になっていると信じています。世界のあらゆるところで横行するコロナウイルスが、今まで当たり前だと思っていたものを見直す契機を与えてくれ、人と繋がることの有難さに改めて気づいた人が多かったのではないかと考えたからです。不況を切り抜けた暁には笑顔が戻る、そう信じながら奮闘している人々の中、その一員である私も歩み続けるつもりです。

研究室生活の大きな変化

2021年（令和3年）大学院理工学教育部（化学専攻）修了 尾崎 仁

今年のキャンパスライフは、コロナ禍の影響で例年とは大きく変わったものとなりました。これまでは毎日大学に通い、大学院の講義や研究室での実験を行うのが当たり前として生活を続けていました。しかし今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、対面講義を避けリモートでの講義を行ったり、実験室に研究生全員を集めず、日によって実験室に来る人を分散させるといった対策を余儀なくされました。

このことで特に困ったのは入構に関する制限です。講義に関しては自宅でもリモートで行ったり、配布資料をダウンロードすることである程度対応できました。しかし実験は実験室でしか行うことができず、大学内のパソコンでしか使用できない計算ソフトなども存在します。この点から、入構に制限がかかってしまうとどうしてもその間は実験を進めることができないという点が修士2年生としては特に困った点でした。具体的には11月には講演会を控えていたのですが、その数日前に富山大学内にてクラスターが発生してしまい、入構制限によって大学内に一切入ることができなくなったことがありました。この時は大学内のみで使用できるツールが使用できず、苦労しました。実験のペースに関しても例年と比較すると、進行具合が遅くなっていないかと不安に思うこともありました。

コロナ禍の影響で今まで意識せずに生活のなかに組み込まれていたものについても意識が変わるようになりました。理学部内にはNMR測定装置という共用の測定器具があるのですが、この器具は全員が使うものゆえ、感染防止のために対策をとるようになりました。測定室内で密にならないように事前に予約を取るようになり、測定器具を全員が触るため事前に消毒をする、できるならば手袋をつけて測定するなどの対策をとるようになりました。また先ほど述べた講演会についても例年は会場に向かっていたのですが、今年はリモートで開催されました。リモートでの講演会は初めてだったので、そのやり方や相手に伝わっているかの確認には苦労しました。その他、我々の研究室では、新入生歓迎のボウリングや数か月に1度のお茶会、忘年会や謝恩会なども例年ありましたが、今年は自粛することになりました。

今年は今まで当たり前だと思っていたことがいろいろ変わってしまい、それに対応するのに苦労したキャンパスライフとなりました。同時に消毒の徹底、マスクや手袋の着用など今まで意識してこなかったことを大きく意識したキャンパスライフでもありました。よくも悪くも、忘れることができない1年になったと思います。

2020年（令和2年）度理学部同窓会寄付報告

理学部同窓会活動へのご寄付におきまして、多くの皆様からご支援を賜りましたことをここに御礼申し上げます。ご寄付を頂いた皆様のご芳名を掲載して謝辞を表し、ご報告させていただきます。（敬称略）

[数学科] 井河 弘一 根塚 仁子 村上 透 横山 久俊
 [物理学科] 小川ミツ子 工藤 裕章 寺元 淳二 中井 賢一 森山 健三
 [化学科] 菅澤 剛一 大門 朗 長堀 征雄 西井 淳 林 知子
 [生物学科] 澤田 斉一 三浦 健司
 [地球科学科] 稲垣 孝一 小林 正則

匿名 22名

令和2（2020）年度 寄付件数 40件 寄付総額 428,020円

富山大学理学部同窓会への寄付のお願い

送金先：ゆうちょ銀行 口座番号：00700-0-16829 口座名称：富山大学理学部同窓会

理学部同窓会活動を円滑に行うために、会員からの寄付を募ります。

一口5,000円で、何口でも、ご協力をお願い申し上げます。

- ※ 通信欄には「おところ」「おなまえ」の他に、「ご卒業学科」「ご卒業年」をお書き添え下さい。
- ※ 同窓会報等の発行物に、氏名の掲載を希望されない方は、その旨もお書き添え下さい。
- ※ 理学部同窓会会員から寄付されたご芳志は、理学部サイエンス・フェスティバルへの支援、理学部学位授与式・祝賀会支援、記念品贈呈、理学部同窓会広報 The Basis 発行費への補助に使用します。



おもしろい
大学

学生からの お礼メッセージ

今年度、新型コロナウイルス感染症による、富山大学独自の緊急的経済支援を頂き、誠にありがとうございました。まさか、たった2ヶ月で新型コロナウイルス感染が拡大し、それに伴い世界の経済活動が停滞する状況になってしまうとは、想像もしていませんでした。さすがの日本経済も大きくダメージを負い、労働者全体に多かれ少なかれ影響を及ぼしています。私は、ベトナムからの留学生で、仕送りはほとんどなく、奨学金とアルバイトで生活しているのですが、一時期、この新型コロナウイルスの影響でアルバイトがなくなり、とても困りました。そういった困難な状況の時、大学の経済支援を頂き、何よりも大変嬉しく、普通の学生生活に戻れました。今は、以前のようにアルバイトをすることができています。日本のみならず世界のコロナ災害が早く終わるように祈っています。工学部4年(留学生)



寄附は新しくなった富山大学基金のホームページからお申し込み及び、ご入金いただけますので、ぜひご活用ください。

富山大学基金だより

第16号
2020.10.1 発行

新型コロナウイルス感染症による社会・経済的影響 「富山大学基金が緊急支援を実施」

日頃から富山大学基金への多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある状況で、4月16日に政府より新型コロナウイルスの感染防止に向けた「緊急事態宣言」が全国に拡大され、外出の自粛、アルバイトの休止等により学生の生活困窮者に対し経済的支援を行う目的で、富山大学基金を活用した大学独自の給付型支援制度を緊急に立ち上げ、5月12日から支給を開始いたしました。

この給付型支援金は、授業料免除者や急激な生活に困窮をきたした学生（私費外国人留学生を含む）に、5万円を支給するもので、これまで申請のありました学生延べ1,335名に対し合計6,675万円の支援を実施して参りました。

また、文部科学省等の「学生支援緊急給付金」が整備され、この制度も活用しつつも、急激な生活困窮をきたした学生への支援に至っていない現状であります。今後、第2波による新たなる支援やメンタルヘルスケア等の課題への対応が必要となってきます。

本学では、できる限りの学生支援を行う予定ですが、感染症の収束が見えない中、必要な財源が不足しております。

つきましては、コロナ禍による経済的困窮、今後の学生生活の不安を護るため、**引き続き基金へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。**

富山大学基金の寄附受入状況：令和2年度

期間	寄附件数	寄附金額
令和2年度4月～8月	722件	40,156,627円

経済的に困窮した学生(留学生)を支援しようと、一般の方、同窓会連合会、名誉教授の会及び教職員へ、紙面やホームページ等で依頼をしたところ、一般基金84件9,611,627円、修学支援基金638件30,545,000円の多数のご寄附が寄せられました。また、各同窓会からも積極的な支援を賜り、4月からの4ヶ月間で寄附件数、寄附金額が昨年度1年間の実績に迫るような状況であります。引き続き、富山大学基金へのご支援をお願いします。



富山大学基金だより

第17号
2021.4.1 発行

富山大学基金を活用した、コロナ禍での学生支援事業とお礼

コロナ禍による困窮学生支援に対し、富山大学基金への多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

修学支援基金を活用し本学独自の給付型支援制度を4月に立ち上げ、今年度1,397名に5万円（合計6,985万円）を緊急時奨学一時金として支給いたしました。また J-Coin 基金（公益財団法人パブリックリソース財団）と富山大学基金を活用し、10月以降210名に1万円（合計210万円）の生協書籍、生協売店、食堂で利用できる、生協電子マネーの支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症が収束しない現在ではありますが、本学では令和3年度も困窮学生に対する支援を継続するとともに、**皆様から引き続き継続的な寄附のご支援・ご協力をお願い申し上げます。**

学生からのお礼メッセージ（経済学部2年） ●

今回、新型コロナウイルス感染症による、富山大学独自の緊急的経済支援事業で経済的支援を頂きありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で日本のみならず世界全体で深刻な経済的影響を及ぼし、今までの日常生活が大きく変化しました。私は現在一人暮らしで、母子家庭ということもあり実家からの仕送りも少ない中、アルバイトも一時的に中断されました。今後の展望が見えず、生活に不安を抱えていた中、富山大学独自の経済支援により経済的、精神的にもとても救われました。現在では徐々に以前の日常生活が戻りつつあり、今後の学校生活に希望が持てました。多くの方の支援のおかげで学生生活を送れているという意識を持ち、感謝の気持ちをもって勉学に努めようと思います。

令和2年度 富山大学基金の寄附受入状況 （令和3年3月末現在）

基金名	期間	寄附件数	寄付金額
富山大学基金（一般）	R2.4.1～R3.3.31	121	18,525,815
修学支援基金	R2.4.1～R3.3.31	732	37,498,000
研究等支援基金	R2.4.1～R3.3.31	3	1,080,000
合計		856	57,103,815



コロナ禍で経済的困窮した学生を支援しようと、一般、同窓会連合会、名誉教授及び教職員へ寄附依頼を行い、多数のご寄附が寄せられました。しかし、第1波を過ぎた8月以降、月150万円～400万円に減少しております。

令和3年2月より順次、医療従事者、高齢者、一般国民へとワクチン接種が開始され、諸外国との移動も緩和されることと思います。

富山大学では、日本人学生の留学派遣、留学生の受入れが可能となった場合は、学生海外留学支援事業、国際交流支援事業、学習環境整備事業も再開したいと計画しております。改めて、富山大学基金へのご協力をお願い申し上げます。

令和3年4月より 富山大学リサイクル募金を開始

富山大学では、リサイクル募金きしゃぽんと提携し、令和3年4月より皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等を提供いただき、その査定金額を富山大学基金への学生支援や教育研究支援事業寄附金として受入る事業を開始します。

<http://kishapon.com/u-toyama>

富山大学リサイクル募金



富山大学研究等支援基金の新規設立

富山大学では、学生及び不安定な雇用状態にある研究者への研究等の支援に対し、「富山大学研究等支援基金」を新たに令和2年9月に設立し、令和3年1月に文部科学大臣より承認されました。

【目的】

○学生又は不安定な雇用状態にある研究者が、自立した研究者として行う研究活動に要する費用を負担する事業
○学生又は不安定な雇用状態にある研究者が、論文の刊行に要する費用、学会等への参加に要する旅費その他の費用で研究活動の成果を発表するために必要なものを負担する事業 等

※ 研究等支援基金は、修学支援基金と同様に個人の方は所得税法上の優遇措置があり、税額控除または所得控除のどちらか有利な方式を確定申告時に選択することができます。詳しくは基金事務へお問い合わせください。

令和2年度 第2回 富山大学基金事業 奨学生帰国報告会 (R3.1.27) を実施

理工学教育部 環境応用化学専攻修士2年 板谷克則

留学機関：イギリス カーディフ大学 留学期間：令和元年9月～令和2年2月



この度は、富山大学基金事業学生海外留学支援プログラムの奨学生としてご支援いただき、誠にありがとうございました。私は最先端の研究施設の下、世界レベルの研究ができ、世界中から集まる様々な学生とクリエイティブかつ革新的なアイデアを生みだしている環境でともに学ぶことで、今までにはない角度から、物事を見て、一人の研究者として活躍するためにイギリスのカーディフ大学へ6ヶ月間留学しました。留学先では、多種多様な専門知識や異なる価値観をもつ海外の学生が、国境を越えて自身の研究や専門分野を追究していました。私の所属していた研究室では、論文を掲載するために日々研究に取り組んでいる人達や研究留学生在籍しており、共に実験をする中で、今まで携わったことのない実験手法や研究分野に数多く触れることが出来ました。留学当初は知り合いもなく不安なこともありましたが、研究室の同僚たちが助けてくれました。

また、自然に恵まれたカーディフでは、毎週末ハイキングサークルの仲間と山へ出かけ、現地の学生や様々な国籍の留学生とハイキングを通してお互いの理解を深めました。現地のコミュニティーに参加することは価値観だけでなくその土地の環境を感じることができます。私がこれらの交流から得たものは多く、充実した留学生活を送ることが出来ました。ハイキングは帰国した現在も私の趣味として続け、富山大学で所属しているサークルにも積極的に関わっています。この6ヶ月間の研究留学は私の人生でかけがえのない経験になりました。さらに、私のこれからの目標や進路を定めるための原動力となりました。この留学で得たものを今後の人生に活かしていきたいと思います。今は、コロナ禍のため海外に行くことは難しいですが、広い視野を持つことができる海外留学は、学生の今だからこそできる素晴らしいことです。チャンスがあればぜひ取り組んでみてほしいと思います。



富山大学基金のパンフレットが新しく変わりました。

問合せ先：富山大学総務部総務課広報・基金室（基金担当）

〒930-8555 富山市五福 3190

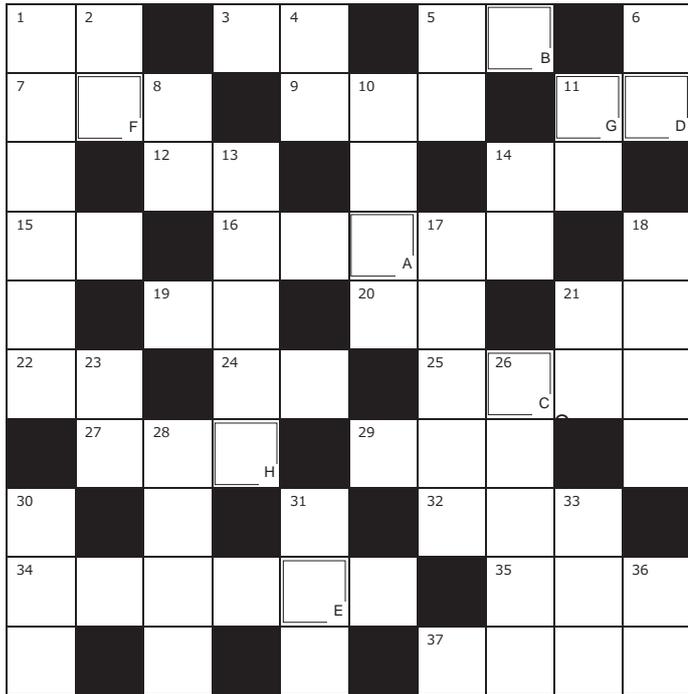
Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6014

E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp

URL: <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/>



特集Ⅳ：懸賞付き「科学用語を含むクロスワード・パズル」



<タテのカギ>

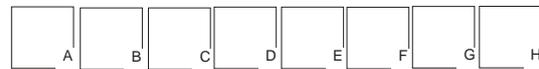
1. 骨や歯の形成に必要な無機物。Mg
2. ○○とピンを分別する
4. 地球の唯一の衛星
5. 体内のミネラルの中でカルシウムの次に多い栄養素。P
6. 朝と○○
8. 自分に危害を与えようとする相手
10. 高いと血管に負担がかかり、重大な病気に繋がる
11. スプーン
13. 出血時に止血を促したり、骨の健康維持にも不可欠。ビタミン K2
14. 12 箇月
17. ボタン科の多年草。生薬としてもよく使用される
18. 不足すると脚気に。ビタミン B1
21. ○○、ジ、トリ・・・
23. NY○○平均株価
26. 水溶性のビタミンで、赤血球中のヘモグロビン生成を助ける
28. 幸せ
30. リン脂質やグリセリン酸をつくるのに用いられるアミノ酸
31. ドア
33. 漫画の表現技法
36. 金属の王様。Au

<ヨコのカギ>

1. 鉄、カルシウムなどのミネラルを含有したスーパーフード
3. 不足すると貧血に。Fe
5. 小型動物。Squirrel
7. 熱いものを持つ時や掃除の時などに役に立つ

9. 夜道を一人で歩くのは○○○
11. 日本にも多く生息する動物
12. ○○細かい泡
14. あらゆるものを固定する便利なもの
15. ○○折々
16. 皮膚や粘膜の健康維持を助ける働きがある。ニコチン酸
19. 読書の○○。食欲の○○
20. 健康な髪にあるもの
21. ニューージーランドにかつて生息していた鳥
22. 役に立たないこと
24. おにぎりなどに使用する栄養豊富な食材
25. ビタミン、ミネラルなどが豊富で、薬膳でよく使われる。赤いドライフルーツ
27. 肝臓の働きをよくするスーパーフード
29. ストレスの軽減機能を有する。γ-アミノ酪酸
32. 海に生息。複数回刺されるとアナフィラキシーショックを起こすことも
34. 水溶性のビタミン。ビタミン B2
35. 現地で○○○した情報は確かである
37. 多くの酵素の構成成分として、成長や生殖に関係している。Mn

<クイズの回答>



<引用>

- ・ 一般社団法人 日本スーパーフード協会
<https://www.superfoods.or.jp/>
- ・ 栄養成分百科 | グリコ
<https://jp.glico.com/navi/dic/index.html>
- ・ アミノ酸大百科 | 味の素株式会社
<https://www.ajinomoto.co.jp/amino/>

今回のテーマは「健康」です。ビタミンやミネラルなどの身体に良いとされる成分名を多めに採用し、化学的な内容に仕上げております。（作成者の中村幸絵様から）

正解者の中から抽選で 5 人に、同窓会長の住居地の名産品「氷見うどん」の細麺 6 本の詰め合わせを贈呈します。奮って応募下さい。

<応募方法>

はがきに、8 文字の回答、郵便番号、住所、氏名、電話番号、卒業/修了年、卒業学科名/専攻名をお書きの上、理学部同窓会事務局へ。締め切りは 2022 年（令和 4 年）1 月 31 日（月）必着。当選者は理学部ホームページに掲載。

送付先：〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学理学部 B305 富山大学理学部同窓会事務局 クロスワード係へ

事務局通信

〔1〕 会員情報

(1) 富山大学理学部同窓会 会員数

2021年5月1日 現在

区分	数学	物理学	化学	生物学	地球科学	生物圏 環境科学	計
富山大学文理学部理学科	476	482	537	285	0	0	1,780
富山大学理学部	1,103	1,032	991	891	777	327	5,121
国立大学法人富山大学理学部	639	513	484	527	532	450	3,145
小計	2,218	2,027	2,012	1,703	1,309	777	10,046
富山大学理学専攻科	10	13	11	20	0	0	54
富山大学大学院理学研究科	84	212	165	136	85	7	689
富山大学大学院理工学研究科	60	99	110	103	70	51	493
国立大学法人富山大学 大学院理工学教育部(理学領域)	103	189	216	215	150	175	1,048
小計	257	513	502	474	305	233	2,284
理学部同窓会準会員(在学生)	206	182	155	152	9	131	835
理学部同窓会準会員(在大学院学生)	15	21	33	34	20	26	149
理学部同窓会準会員(教員)	11	12	11	14	9	14	71
理学部同窓会特別会員(旧教員)	16	19	20	20	28	9	112
理学部同窓会特別会員(その他)	0	0	0	0	0	0	0
小計	248	234	219	220	66	180	1,167
合計	2,723	2,774	2,733	2,397	1,680	1,190	13,497

〔注〕 会員数は累積数で、物故者および学部と大学院の重複を反映しておりません。

(2) 物故者 氏名(よみがな)、卒業回・年、学科、修了回・年、死亡日 2021年5月1日までに連絡のあった物故会員

開場 鉄也(せきば てつや)、富山工業高専名誉教授、5回、S32=1957、化学、R02(2020)年3月死去

藤井 昭二(ふじい しょうじ)、旧教員、富山大学名誉教授、H29(2017)年6月5日死去

高田 豊(たかだ ゆたか)、19回、S46=1971、化学、S47=1972、理専攻科、H28(2016)年8月死去

由田 義巳(よしだ よしみ)、24回、S51=1976、数学、S52=1977、理専攻科、R01(2019)年1月13日死去

長井 修(ながい おさむ)、26回、S53=1978、数学、R01(2019)年12月30日死去

福島 重久(ふくしま しげひさ)、11回、S38=1963、数学、R01(2019)年4月死去

多鍋 浩二(たなべ こうじ)、32回、S59=1984、数学、7回、S61=1986、院修、R02(2020)年7月29日死去

金川 彰人(かながわ あきと)、36回、S63=1988、物理学、R01(2019)年2月25日死去

山上 清司(やまがみ きよし)、22回、S49=1974、化学、R02(2020)年1月死去

数納 将亨(すのう まさゆき)、47回、H11=1999、物理学、H30(2018)年7月死去

熊谷 尚文(くまがい なおふみ)、5回、S32=1957、化学、R01(2019)年11月22日死去

押見 正(おしみ ただし)、27回、S54=1979、物理学、R01(2019)年10月6日死去

杉本 喜多雄(すぎもと きたお)、12回、S39=1964、数学、H25(2013)年2月7日死去

神田 一成(かんだ いっせい)、68回、R02=2020、数学、R02(2020)年7月28日死去

水木 省三(みずき しょうぞう)、2回、S29=1954、生物学、R02(2020)年8月20日死去

林 勝(はやし まさる)、38回、H02=1990、数学、R03(2021)年2月8日死去

石倉 哲雄(いしくら てつお)、19回、S46=1971、物理学、R01(2019)年4月2日死去

根塚 純一(ねづか じゅんいち)、11回、S38=1963、物理学、H22(2010)年5月6日死去

岡部 義人(おかべ よしひと)、9回、S36=1961、数学、R02(2020)年6月20日死去

齋藤 一夫(さいとう かずお)、14回、S41=1966、生物学、H30(2018)年10月14日死去

鈴木 米三(すずき よねぞう)、旧教員、H30(2018)年5月21日死去

富田 進(とみた すずむ)、1回、S28=1953、生物学、H30(2018)年6月7日死去

常崎 博夫(つねざき ひろお)、5回、S32=1957、化学、H29(2017)年11月17日死去

神保 孝司(じんぼ たかし)、34回、S61=1986、化学、R02(2020)年1月2日死去

松岡 幸雄(まつおか ゆきお)、2回、S29=1954、物理学、R01(2019)年11月3日死去

永原 信彦(ながはら のぶひこ)、32回、S59=1984、地球科学、H30(2018)年5月27日死去

島倉 昌二 (しまくら しょうじ), 9回, S36=1961, 物理学, H29 (2017) 年1月28日死去
 桑原 一郎 (くわばら いちろう), 7回, S34=1959, 物理学, R02 (2020) 年4月19日死去
 村井 仁 (むらい じん), 4回, S31=1956, 化学, H29 (2017) 年10月12日死去
 中西 達弥 (なかにし たつや), 32回, S59=1984, 数学, H31 (2019) 年1月23日死去
 日比野 誠 (ひびの まこと), 59回, H23=2011, 物理学, H26 (2014) 年5月4日死去
 佐伯 實 (さえき みのる), 3回, S30=1955, 生物学, H29 (2017) 年7月9日死去
 西野 利晴 (にし の としはる), 28回, S55=1980, 物理学, R02 (2020) 年7月末死去
 田中 正隆 (たなか まさたか), 17回, S44=1969, 化学, R01 (2019) 年5月30日死去
 横浜 哲夫 (よこはま てつお), 11回, S38=1963, 数学, R02 (2020) 年12月7日死去
 林川 恭子 (はやしかわ やすこ), 11回, S38=1963, 化学, H31 (2019) 年2月11日死去
 塩谷 俊作 (しおたに しゅんさく), 旧教員, H30 (2018) 年9月21日死去
 鍛冶 秀雄 (かじ ひでお), 5回, S32=1957, 生物学, H31 (2019) 年1月20日死去
 村井 豊 (むらい ゆたか), 14回, S41=1966, 化学, R02 (2020) 年9月13日死去
 鈴木 敏重 (すずき とししげ), 18回, S45=1970, 化学, H29 (2017) 年6月15日死去
 笹倉 修治 (ささくら しゅうじ), 13回, S40=1965, 数学, R03 (2021) 年3月1日死去
 高森 弘 (たかもり ひろし), 6回, S33=1958, 数学, R01 (2019) 年9月14日死去
 松谷 和子 (まつたに かずこ), 9回, S36=1961, 化学, H18 (2006) 年4月6日死去
 広岡 公夫 (ひろおか きみお), 旧教員, H30 (2018) 年12月24日死去
 天池 学 (あまいけ まなぶ), 19回, S46=1971, 数学, R02 (2020) 年10月9日死去
 吉田 祚一 (よしだ そいち), 10回, S37=1962, 生物学, H30 (2018) 年2月28日死去

(3) 教職員の異動

[退職]

R02. 9. 30 楠本 成寿 (くすもと しげかず) 地球システム科学科 教授

[採用]

R02. 8. 1 鹿児島 涉悟 (かごしま たかのり) 生物圏環境科学科 特命助教

【2】活動報告

(1) 2020 (R02) 年度 第1回理事会 (書面審議)

書面表決書提出期限: 2020年6月22日(月)

議事: 1) 役員名簿の更新

2) 令和元年度事業報告・会計決算報告

3) 年会費について

4) 「富山大学修学支援基金へのご寄附のお願い」について

5) 令和2年度活動計画 (案)・会計予算 (案)

6) 会則改定について

7) 総会のインターネット上 (WEB) での表決実施について

(2) 2020 (R02) 年度 理学部同窓会総会 (書面審議)

書面表決提出期限: 2020 (R02) 年7月31日 (金)

場所: 理学部同窓会ホームページ上

議事: 1) 2019年度事業報告・会計決算報告・会計監査報告

2) 役員改選

3) 富山大学修学支援基金への寄付報告

4) その他

(3) 2020 (R02) 年度 第1回役員会

日時: 2020年11月5日 (木) 18:00~19:15

場所: 理学部2階小会議室 (B203)

議事: 1) 理学部同窓会活動委員会を活発な委員会にするために

2) 同窓会名簿発行についてのサラトとの契約書 (案) 承認の件

3) その他

(4) 2020 (R02) 年度 第2回役員会

日時: 2021年2月14日 (日) 10:40~12:40

場所: 理学部1階会議室 (B136)

議題: 1) 富山大学理学部学位記授与式に対する同窓会の対応について

2) 富山大学理学部新入生の保護者への対応について

3) 今後の活動および会議のやりかたについて

4) 会則改定について

5) 2020年度事業計画案・会計予算案について

(5) 2020 (R02) 年度 理学部同窓会富山支部講演会

日時: 2021年3月14日 (日) 13:30~14:30

場所：理学部多目的ホール

講師：富山大学附属病院総合診療部 教授 山城 清二 氏

テーマ：「with コロナと地域のつながり

～老健クラスターへの取り組みとその後の課題～」

(6) 富山大学同窓会連合会第1回幹事会（書面審議）

提出締切日：2020（R02）年6月12日（金）

議事：1）議事録について

2）新役員について

3）2019年度事業報告、会計決算報告、会計監査報告について

4）2020年度事業計画、会計予算（案）について

5）今年度中止となった行事のご担当先送りについて

6）同窓会連合会第13回総会開催について

(7) 富山大学同窓会連合会総会

コロナ禍のため幹事会で代行し、中止。

(8) 富山大学同窓会連合会第2回幹事会（書面審議）

提出締切日：2020（R2）年8月3日（月）

議事：1）第1回幹事会（書面審議）議事要旨(案)について

2）令和2年度第13回ホームカミングデーの中止について

3）令和元年度・令和2年度中止となった行事のご担当先送りについて

(9) 富山大学同窓会連合会第3回幹事会

日時：2020（R2）年12月8日（火）18:00～18:55

場所：富山大学事務局5階 大会議室

議事：1）連合会役員名簿の確認

2）令和2年度事業中間報告・会計中間報告

3）令和3年事業計画（案）について

4）今後の卒業・入学式等記念講演者、各種事業へのご協力について

5）都市デザイン学部からの同窓会連合会への加入について

6）その他

(10) 富山大学WEBホームカミングデー

日時：2020年11月21日（土）10:00～12:00

場所：富山大学五福キャンパス共通教育棟D11教室およびオンライン配信

内容：学長 齋藤滋氏の祝辞 他

富山大学修学支援基金寄付報告

令和2（2020）年4月に政府より新型コロナウイルスの感染防止に向けた「緊急事態宣言」が全国に拡大され、外出の自粛、アルバイトの休止、親からの仕送り減等により学生の生活困窮者がいる状況下において、富山大学理学部同窓会では役員・理事各位へ修学支援寄付金を募りましたところ、525,000円のご寄付を賜りました。ご協力いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。令和2（2020）年7月2日に富山大学理学部同窓会として富山大学修学支援基金へ寄付いたしましたことご報告申し上げます。

また、個人、団体で直接、富山大学基金へ修学支援のご寄付をくださった方々へも重ねてお礼申し上げます。

なお、富山大学基金では引き続き修学支援基金についてご案内しておりますので、ご協力いただけますと幸いです。

【富山大学理学部同窓会へ修学支援としてご寄付いただいた方】（敬称略・50音順）

浦山 茂 大野 麻波 川田 邦夫 北野 芳則 熊田 重勝 坂井 幸絵
下田 弘 菅澤 剛一 高井 正三 中田 哲也 畠山 豊正 林 美貴子
平田 卓郎 三上 卓宏 水島 俊雄 水野 透 渡邊 賢亮 匿名3名

以上20名

2020年度 理学部同窓会役員・活動委員会名簿

2020年度 理学部同窓会役員

顧問 平田 卓郎 (化, 1回, S28=1953)
 北野 芳則 (化, 8回, S35=1960),
 川田 邦夫 (物, 14回, S41=1966)
 西野 俊一 (物, 21回, S48=1973)
 石黒 幸男 (化, 21回, S48=1973)
 名誉会長 若杉 達也 (理学部長)
 会長 高井 正三 (物, 21回, S48=1973)
 副会長 熊田 重勝 (化, 22回, S49=1974)
 松永 豊 (生, 34回, S61=1986)
 柘植 清志 (理学部副学部長)
 幹事長 田中 大祐 (生, 38回, H02=1990,
 院 H04=1992)
 常任理事 水島 俊雄 (物, 22回, S49=1974),
 副幹事長・総務委員長
 池田 榮雄 (数, 24回, S51=1976),
 研究教育委員
 岩坪 美兼 (生, 26回, S53=1978,
 院 S55=1980) 研究教育委員長

西井 淳 (化, 28回, S55=1980)
 総務委員会
 米谷 正広 (地, 29回, S56=1981,
 院 S58=1983), 研究教育委員会
 大門 朗 (化, 32回, S59=1984),
 組織強化委員長
 蒲池 浩之 (生, 37回, H01=1989,
 院 H03=1991), 広報委員会
 岡田 知子 (環, 45回, H09=1997,
 院 H11=1999), 事業委員長

学内理事

藤田 安啓 (数学), 森脇 喜紀 (物理学),
 林 直人 (化学), 松田 恒平 (生物学),
 安永 数明 (地球科学),
 張 勁 (生物圏環境科学)

監査委員

菅澤 剛一 (化, 30回, S57=1982,
 院 S59=1984),
 松田 恒平 (生, 33回, S60=1985,
 院 S62=1987)

活動委員会委員名簿

委員会名称	○委員長 委員
総務委員会	○水島俊雄 (物, S49), 西井 淳 (化, S55), 吉川和男 (物, S34)
事業委員会	○岡田知子 (環, H9), 田中大祐 (生, H2), 辻 直史 (数, S49), 佐藤 卓 (生, S52), 松田恒平 (生, S60), 林美貴子 (生, S45)
広報委員会	○高井正三 (物, S48), 蒲池浩之 (生, H01), 中村幸絵 (化, H20), 林 有一 (物, S40), 水野 透 (数, S44), 上山 勉 (化, S46), 荒木敏勝 (化, H07)
組織強化委員会	○大門 朗 (化, S59), 小川清美 (化, S35), 金坂 績 (化, S39)
研究教育委員会	○岩坪美兼 (生, S53), 池田榮雄 (数, S51), 米谷正広 (地, S56), 常川省三 (物, S39), 畠山豊正 (物, S39), 二宮 努 (数, S54)

副支部長 松永 豊 (生 34, S61=1986)
 木戸 瑞佳 (地 41, H05=1993, 院 H07=1995)
 支部幹事長 大門 朗 (化 32, S59=1984)
 支部幹事 石田 有正 (数 26, S53=1978)
 水島 俊雄 (物 22, S49=1974)
 佐藤 卓 (生 25, S52=1977, 院 S54=1979)
 中田 哲也 (化 31, S31, S58=1983)
 永田 清則 (化 32, S59=1984)
 岡田 知子 (環 45, H09=1997, 院 H11=1999)
 支部監査 副支部長が代行

関東支部役員

支部長 渡邊 賢亮 (物 12, S39=1964)
 副支部長 小島 由樹 (物 31, S58=1983, 院 6, S60=1985)
 支部幹事長 下田 弘 (化 8, S35=1960)
 支部幹事 浦山 茂 (物 12, S39=1964)
 小山 哲朗 (化 13, S40=1965)
 高橋 亨 (地 30, S57=1982)
 宮崎 政志 (物 32, S59=1984)
 杉山 弘 (物 33, S60=1985)
 谷口 泰弘 (物 36, S63=1988)
 支部監査 副支部長が代行

富山支部役員

支部顧問 小川 清美 (化 8, S35=1960)
 高井 正三 (物 21, S48=1973)
 支部長 熊田 重勝 (化 22, S49=1974)

2021 (R3) 10月19日の2021 (R3) 年度第2回理事会 (書面審議) におきまして、議事「総会開催までの間、理事会で承認された新役員による臨時執行部で、令和3年度の同窓会事業を行う」ことが賛成多数で可決されました。よって、すでに新体制で事業を行っておりますが、2020年度の役員名簿を掲載しておりますことご了承ください。なお、新役員については総会資料をご覧ください。

R02 (2020) 年度理学部同窓会会計決算報告, 会計監査報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

一般会計

【収入の部】

費目	予算額	決算額	差引額*1
入会金	3,140,000	3,340,000	200,000
年会費	160,000	242,000	82,000
寄附金	40,000	428,020	388,020
修学支援寄付金	0	525,000	525,000
懇親会費預り金	100,000	0	△ 100,000
預金利息	10	15	5
雑収入	89	0	△ 89
前年度繰越金	442,901	442,901	0
計	3,883,000	4,977,936	1,094,936

*1 (決算-予算)

【支出の部】

(単位:円)

費目	予算額	決算額	差引額
事務費	1,050,000	1,066,837	16,837
備品費	0	4,056	4,056
広報関係費	500,000	594,630	94,630
事業費	200,000	0	△ 200,000
支部事業費	100,000	100,000	0
会議費	200,000	1,362	△ 198,638
人件費	600,000	611,687	11,687
卒業式支援	530,000	506,000	△ 24,000
分担金	70,000	66,000	△ 4,000
特別会計	260,000	260,000	0
修学支援寄付金	0	525,000	525,000
予備費	373,000	0	△ 373,000
計	3,883,000	3,735,572	△ 147,428

差引残高=収入額-支出額=4,977,936円-3,735,572円=1,242,364円 は次年度へ繰り越し

特別会計

【収入の部】

費目	予算額	決算額	差引額
前年度繰越金	1,490,371	1,490,371	0
利息	10	18	8
一般会計から組入	260,000	260,000	0
計	1,750,381	1,750,389	8

【支出の部】

(単位:円)

費目	予算額	決算額	差引額
名簿作成費※	600,000	0	△ 600,000
記念事業費	0	0	0
退職準備金	0	0	0
予備費	0	0	0
計	600,000	0	△ 600,000

※名簿作成1年延期=2021年3月発行予定から2022年3月発行へ延期

差引残高=収入額-支出額=1,750,389円-0円=1,750,389円 は次年度へ繰り越し

年会費会計

(単位:円)

費目	収入の部	支出の部	差引額
前年度繰越金	0	0	0
年会費	1,528,000	242,000	1,286,000
計	1,528,000	242,000	1,286,000

1,286,000円は次年度へ繰り越し

令和2年度
監査報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの富山大学理学部同窓会の会計事務処理及び手続きなどの業務処理について監査したところ、適正に処理されているものと認めましたので、ここに報告いたします。

令和3年4月20日

富山大学理学部同窓会

監査委員 菅澤剛 

監査委員 松田恒平 

国立大学法人富山大学理学部同窓会会則

昭和54年11月7日制定
 昭和57年11月13日制定
 昭和63年8月13日制定
 平成2年10月27日制定
 平成3年10月26日制定
 平成10年8月8日制定
 平成17年8月7日制定
 平成18年8月12日制定
 平成19年8月11日制定
 平成20年8月9日制定
 平成21年7月11日制定
 平成25年7月13日制定
 平成29年7月22日制定
 令和元年7月27日制定
 令和2年8月1日制定

(趣旨)

第1条 本会は、国立大学法人富山大学理学部同窓会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を篤くし、併せて国立大学法人富山大学理学部との連絡を密にし、その発展と社会への貢献に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達するために次の事業を行なう。

- (1) 国立大学法人富山大学理学部との連携・協力
- (2) 交流会・講演会等の開催
- (3) 会員相互の親睦を篤くする事業活動
- (4) 会員名簿の整備、発行
- (5) 全学同窓会連合会事業活動
- (6) その他本会の目的を達成するための事業

(会員・組織)

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 通常会員 富山大学文理学部理学科卒業生、同理学専攻科修了者、富山大学理学部卒業生、同大学院理学研究科修了者、同大学院理工学研究科修了者、国立大学法人富山大学理学部卒業生、同大学院理工学研究科修了者および同大学院理工学教育部(理学)修了者
- (2) 準会員 国立大学法人富山大学理学部、同大学院理工学研究科、および同大学院理工学教育部(理学)に在学する者ならびに国立大学法人富山大学学術研究部理学系教員(ただし、通常会員を除く)
- (3) 特別会員 国立大学法人富山大学大学院理工学研究部(理学)旧教員、同理学部旧教員、富山大学理学部旧教員および文理学部旧教員で理事会が推薦した者

なお、国立大学法人富山大学理学部、富山大学理学部および文理学部縁故者で特に理事会の承認を得た者を特別会員とすることができる

- (4) 名誉会員 本会に特に功労があつて理事会の推薦によって会長が決定した者

2 次の者は会員の資格を失う。

- (1) 物故者
- (2) 退学者

- (3) 本会の名誉を著しく傷つけ、総会において除名された者(事務所)

第5条 本会の事務所は、「〒930-8555 富山市五福 3190」を住所とする国立大学法人富山大学理学部内に置く。

(支部)

第6条 本会は、会員の多数存在する場所に支部を置くことができる。

2 前項の支部を設置しようとするときは、その責任者を定めて支部規定、支部会員の名簿とともに、本部に報告するものとする。

(役員)

第7条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 名誉会長 1名(学部長)
- (2) 会長 1名
- (3) 副会長 3名(通常会員から2名と準会員から1名)
- (4) 幹事長 1名
- (5) 常任理事 若干名
- (6) 学内理事 学術研究部理学系教員各学科1名
- (7) 理事 若干名(学科担当理事、年代別担当理事、各支部理事、各学年理事のいずれかに属する)
- (8) 監査委員 2名
- (9) 最高顧問 必要数
- (10) 顧問 必要数

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、本会の事業を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。

3 幹事長は、本会の会務執行を総括し、事業を執行する。

4 常任理事は、本会の会務を分担し、事業を執行する。

5 学内理事は、本会と各学科の連携を図り、理事会に出席し会務を審議するとともに、活動委員会に所属して会務を分担し、事業の執行を補助・支援する。

6 理事は、理事会に出席し会務を審議し、事業の執行を支援する。また、活動委員会に所属して会務を分担し、事業の執行を補助することができる。

7 監査委員は、会計を監査する。

8 最高顧問および顧問は、総会および理事会に出席して、会務について助言をすることができる。

9 名誉会長は、会務に関する重要事項について助言することができる。また、本会の運営などに協力し、会長の諮問に応ずる。

(役員選出)

第9条 会長、副会長および幹事長は、理事会において会員中より推薦する。

2 常任理事は、理事会において互選する。

3 学内理事は、学術研究部理学系教員から名誉会長が推薦する。

4 理事のうち学科担当理事、年代別担当理事は、理事会において互選する。

5 理事のうち各支部理事は、各支部会員から2名を推薦する。

6 理事のうち各学年理事は、学年毎に各学科から1名を卒業時に推薦する。

7 監査委員は、総会において互選する。

8 新たに役員に選出された者は、総会において承認を受けるものとする。

(役員任期)

第10条 会長、副会長、幹事長、常任理事、学内理事、理事および監査委員の任期は2年とし再任を妨げない。

2 役員交代は、前任者の残任期間とする。

(名誉会長)

第11条 本会の名誉会長は、国立大学法人富山大学理学部長がこれに当たる。

(最高顧問・顧問)

第12条 本会に、最高顧問、顧問を必要数置くことができる。最高顧問は本会の特別会員で学長経験者とし、顧問は本会の会長および副会長経験者とする。

(総会・理事会・活動委員会・運営委員会)

第13条 総会は、毎年1回以上開催する。

2 理事会は、必要の都度、会長がこれを招集し、開催する。

3 総会および理事会の議決は、出席会員の過半数の同意によって決し、可否同数の場合は議長が決する。

4 総会は、インターネット上において開催されるものも有効とする。

5 理事会に以下の活動委員会を置き、会務の執行を分担する。

(1) 総務委員会(名簿の管理、財務の管理、会議、就職支援、管理運営、他会務全般)

(2) 事業委員会(工場見学、講演会、ホームカミングデイ、等事業実施)

(3) 広報委員会(会報の編集・発行、ホームページの管理、ブログの管理)

(4) 組織強化委員会(総会、年代別同窓会、地域別同窓会=支部活動支援)

(5) 研究教育委員会(研究教育活動支援、理学祭、セミナー、研修会、等支援)

6 活動委員会に委員長を置き、常任理事をもって当てる。

7 活動委員会の運営を円滑にするため運営委員会を置く。

8 運営委員会は、幹事長、各委員長、常任理事および学内理事をもって組織し、次の事項を審議する。

(1) 各活動委員会の運営に関する事項

(2) その他、活動委員会および同窓会活動に関する必要事項

9 運営委員会は幹事長が招集し、議長となる。

10 運営委員会の議決は、出席委員の過半数の同意によって決し、可否同数の場合は議長が決する。

11 運営委員会において決定した事項は理事会に報告するものとする。

12 活動委員会および運営委員会の改廃は理事会の議を経て、会長がこれを行う。

(会員情報)

第14条 通常会員は、氏名、現住所、職業および勤務先などに異動があった場合は、その都度本部に通知するものとする。

2 会員は、氏名以外の会員固有の情報を同窓会名簿に記載しない権利を行使できるものとする。

(会費)

第15条 会員は、入会費、寄附金、年会費、特別会費をもって充てる。

2 入会費は2万円を、入学時に納入するものとする。ただし、既納の入会費は、返納しない。

3 寄附金は、随時これを受け付けるものとする。

4 卒業または大学院修了後の通常会員から年会費を収集することができるものとする。

5 年会費の額と集金方法は、総会の承認を経て別途制定するものとする。

6 特別な行事を行う場合は、総会の承認を経て、臨時に特別会費を徴収することができるものとする。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(予算、決算)

第17条 予算および決算は、理事会および総会の承認を経なければならない。

(報告の義務)

第18条 本会の事業結果、収支決算および会計監査結果は、総会において報告するものとする。

(事務)

第19条 本会の事務を処理するため専任の事務員を置き、会長がこれを委嘱し、手当を支給する。

2 会員への案内、連絡、意見収集等にはホームページおよび電子メールを使用することができる。

(会則の改正)

第20条 本会の会則を改正しようとするときは、理事会の審議を経て、総会において決定するものとする。

附則 この会則は、昭和55年4月1日から施行する。

附則 この会則は、昭和58年4月1日から施行する。

附則 この会則は、平成元年4月1日から施行する。

附則 この会則は、平成2年4月1日から施行する。

附則 この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則 この会則は、平成10年4月1日から施行する。

附則 この会則は、平成17年4月1日から施行する。

附則 1 この会則は、平成18年4月1日から施行する。

2 第15条第1項の規定にかかわらず、大学院理工学研究部(理学)教員の準会員としての入会金は、平成18年4月1日現在の在職者に限り、1万円の入会金を納入するものとする。

附則 1 この会則は、平成19年4月1日から施行する。

2 会長は、平田 卓郎(立山町)とする。

附則 1 この会則は、平成20年8月9日から施行する。

2 会長は、北野 芳則(黒部市)とする。

附則 この会則は、平成21年7月11日から施行する。

附則 1 この会則は、平成25年7月13日から施行する。

2 会長は、川田 邦夫(富山市)とする。

附則 1 この会則は、平成29年7月22日から施行する。

2 会長は、高井 正三(氷見市)とする。

附則 1 この会則は、令和元年7月27日から施行する。

附則 1 この会則は、令和2年8月1日から施行する。

編集後記

ここに理学部同窓会会報 The Basis vol.40 2021 をお届けします。まずは本誌に快く寄稿くださいました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

まず今回は、研究紹介を次年度以降に掲載することをお許し願います。原稿起こしが間に合いませんでした。

特集Ⅰ：岡部俊夫先生瑞宝中綬章受章を祝ってでは、結晶物理学研究室（通称「物理3研」）の池本弘之教授に、研究内容と功績を紹介して頂きました。そして1973年卒業の私高井が思い出を、更に岡部先生との研究課題でのエピソードと思い出を、1990 修士修了の現理学部同窓会関東支部長の藤森洋行様に書いて頂きました。

特集Ⅱ：第13回サイエンス・フェスティバル2020では、実行委員長の長瀬茉莉様、副実行委員長の荻原明日香様、そして各学科の代表には、メッセージと企画内容、ブース担当メンバーを紹介して頂きました。

特集Ⅲ：キャンパスを振り返ってでは、数学科卒業の末岡透様、数学専攻修了の松井一樹様、数学科卒業の齋藤祐助様、大学院理工学教育部（理学）修了の佐々木照太様、化学科卒業の佐藤佳輔様、化学専攻修了の尾崎仁様から寄稿頂きました。

特集Ⅳでは、懸賞付き「科学用語を含むクロスワード・パズル」を、広報委員の中村幸絵様から提供頂きました。

私が長年この会報の編集を担当してきたのは、43年間、大学の情報センター（現在の総合情報基盤センター）に勤務し、情報処理教育用のテキストを22年間編集・発行してきた経験を、この理学部同窓会会報の編集に活用し、少しでも編集経費を節約したいと思ったからでした。

この同窓会会報 Vol.40 を最後として、広報委員を引退し、後輩にバトンタッチしたいと思います。老婆心ながら、一言申し添えらしたたら、同窓会会報を編集するには、原稿は無

論、掲載する数多くの写真とそのキャプション＝説明文を収集する必要があります。幸い私はカメラが趣味で、写真撮影が好きだったので、当時は所属していた総合情報基盤センターの備品で、大学では最高スペックのデジタル・カメラを使用することが可能でした。

同窓会連合会の初代幹事長を4期8年間やっていましたので、あらゆる行事に出掛け、「大学の同窓会会報用に写真を撮らせて下さい。」と許可を取りながら、遠慮無く写真を撮らせて頂きました。

当初、同窓会報は編集料を含め、約80ページ8,500部位で100～120万円の経費が掛かっていましたが、私が編集するようになって、約50ページ8,500部位で50万円程度に経費を削減することができました。

ただ、一番の負担は研究紹介の取材とその原稿起こしで、かつて、この取材から原稿起こしまで印刷業者をお願いしていたので、その苦労を痛感した次第です。今回も生物学科の玉置大介先生の取材が2時間で、その原稿起こしに6ヶ月以上も掛かって、完成しませんでした。残り30分が進まず、次回以降に掲載をお願いしたいと思います。

広報委員長 高井正三（21回=S48, 物理学卒）

富山大学理学部同窓会報 2021年版

The Basis vol.40 (理学部同窓会報通巻40号)

会報編集委員会（広報委員会）：高井正三（21物：委員長）、蒲池浩之（37生：常任理事）、中村幸絵（56化：理事）、水野透（17数：理事）、林有一（13物：理事）、上山勉（19化：理事）、荒木敏勝（43化：理事）
印刷：株式会社なかたに印刷 TEL:076-465-2341

〒939-2741 富山市婦中町中名 1554-23

2021（R3）10月19日の2021（R3）年度第2回理事会（書面審議）におきまして、議事「総会開催までの間、理事会で承認された新役員による臨時執行部で、令和3年度の同窓会事業を行う」ことが賛成多数で可決されました。よって、すでに新体制で事業を行っておりますが、今号の各役職については2020年度の役職のまま掲載しております。何卒ご了承くださいませようお願いします。

information

異動先・お名前の変更のご連絡を

同窓会報「The Basis」は現住所あてに送付しておりますが、現住所が不明な場合は返送されてきます。このようなことはできる限り回避したいので、ご住所が変わったり、お名前が変わった場合は「変更届はがき」にてお知らせください。

注意してください

富山大学理学部同窓会では、株式会社サラトにおいてのみ名簿を委託しております。それ以外の名簿作成や商品販売は一切行っておりません。また、会員以外の方への会員名簿配布および販売はしておりません。不審な電話やハガキなどを受け取られた場合は、お手数でも本会事務局までご連絡ください。



元気に咲いていた菊



赤と緑の配分がきれいな楓

五島一郎先生 晩秋の富山県中央植物園を撮影散歩 Google Drive「癒し写真フォルダー」より抜粋



楓（フウ）の実



瞬間的に射した光で濡れた楓の葉

同ドライブ「癒し写真フォルダー」より抜粋：

<https://drive.google.com/drive/folders/0B3ftlfqCjSeYWEhpUjdBeUgzNGc?resourcekey=0-SYfkv0yy10A3Ai2vo1YFRQ>



2021 年度（令和 3 年度）富山大学理学部同窓会総会 （例年：7 月第 4 土曜日に開催）

インターネット上の書面審議とし、記念講演会、懇親会は中止します

総会について詳しくは P.3 参照

理学部ホームカミングデー … 2021 年 9 月 25 日（土）中止

富山大学ホームカミングデー … 2021 年 10 月 23 日（土）
杉谷キャンパス 日医工オーデトリウム（終了）



富山大学理学部同窓会

〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学理学部内 B305 TEL：076-411-4803
ホームページ：<http://www3.u-toyama.ac.jp/alumni4/>

